
長久手市 在宅介護実態調査
(要介護認定者と介護者の状況)
結果報告書

令和3年3月

長久手市 福祉部長寿課

第1 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、要支援・要介護認定を受け居宅で暮らしておられる人およびその介護をしておられる人から、家族介護の実態、施設入所の検討状況、家族介護者就労状況等をたずねたものです。この調査結果は、今後の施策形成の基礎データとして活用します。

なお、この調査は、厚生労働省が示す「在宅介護実態調査」の内容を基本として実施し、この結果と認定データ（認定調査結果の情報等）を関連付け、分析しました。

2 調査の実施方法等

本調査は、図表1-1のとおり実施しました。

図表1-1 調査の実施方法等

調査の種類	調査対象者	調査基準日	調査期間	調査方法
高齢者くらしのチェックリスト	市内在住で介護保険施設に入所していない65歳以上の要介護認定者	令和2年 6月15日	令和2年7月6日 ～17日	郵送による 配布・回収

3 回収結果

各対象の配布数および回収数は、図表1-2のとおりです。

図表1-2 回収結果

調査対象	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
要介護認定者	703	346	49.2%	341	48.5%

※ 「有効回答数」とは、回収した回答から集計に不適正な無効回答を除いた有効回答の合計数のことです。

4 報告書の見方

- 図表中のn（Number of Caseの略）は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示しています。
- 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、パーセントの合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な質問の場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をします。したがって、各項目の比率の合計は、通常100%を超えています。
- 本報告書中の表、グラフ、本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略してある場合があります。

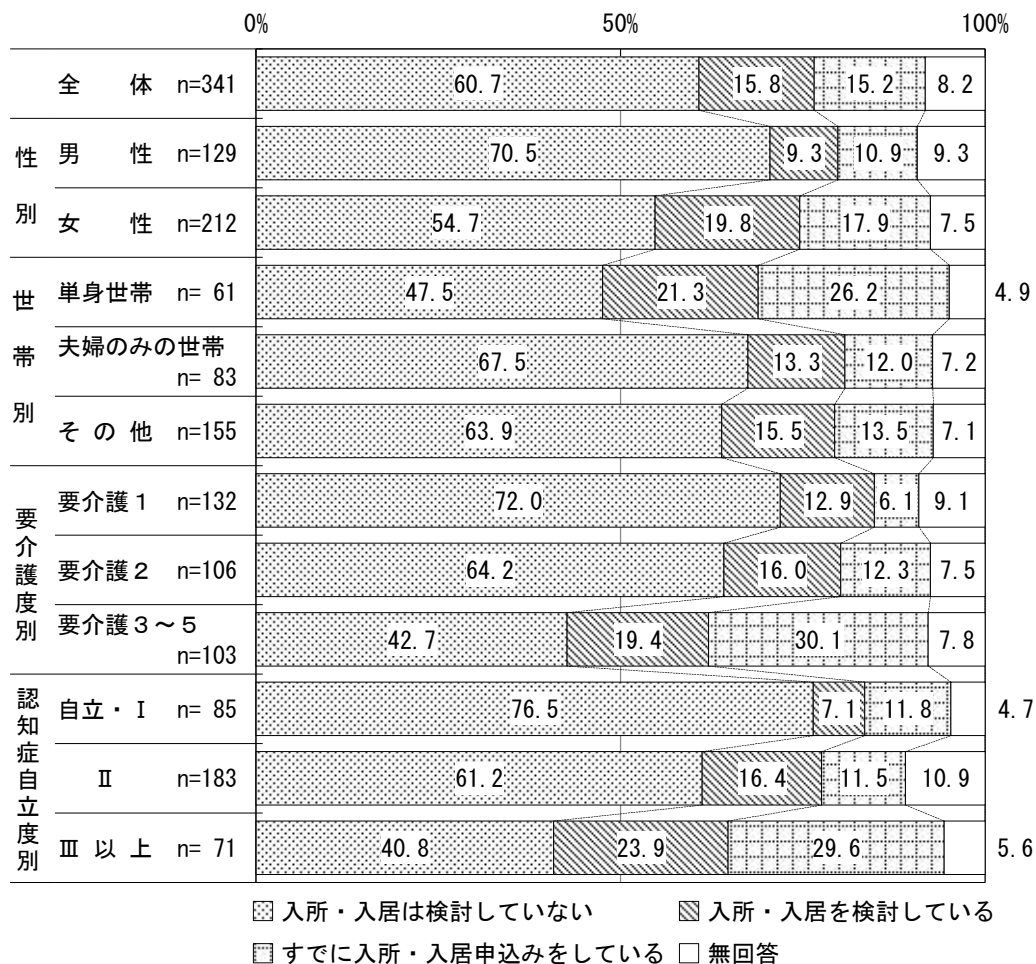
第2 調査結果

1 要介護認定者の状況

(1) 施設等への入所・入居の検討状況

- 施設等への入所・入居の検討状況は「入所・入居は検討していない」が 60.7%を占めており、「入所・入居を検討している」が 15.8%、「すでに入所・入居申込みをしている」が 15.2%となっています。
- 性別にみると女性に比べて男性は「入所・入居は検討していない」が 15.8 ポイント高くなっています。
- 世帯別にみると、単身世帯はそのほかの世帯に比べて「入所・入居は検討していない」が 15 ポイント以上低くなっています。
- 要介護度別及び認知症自立度別にみると、いずれも重度化にしたがい「入所・入居は検討していない」が低くなります。

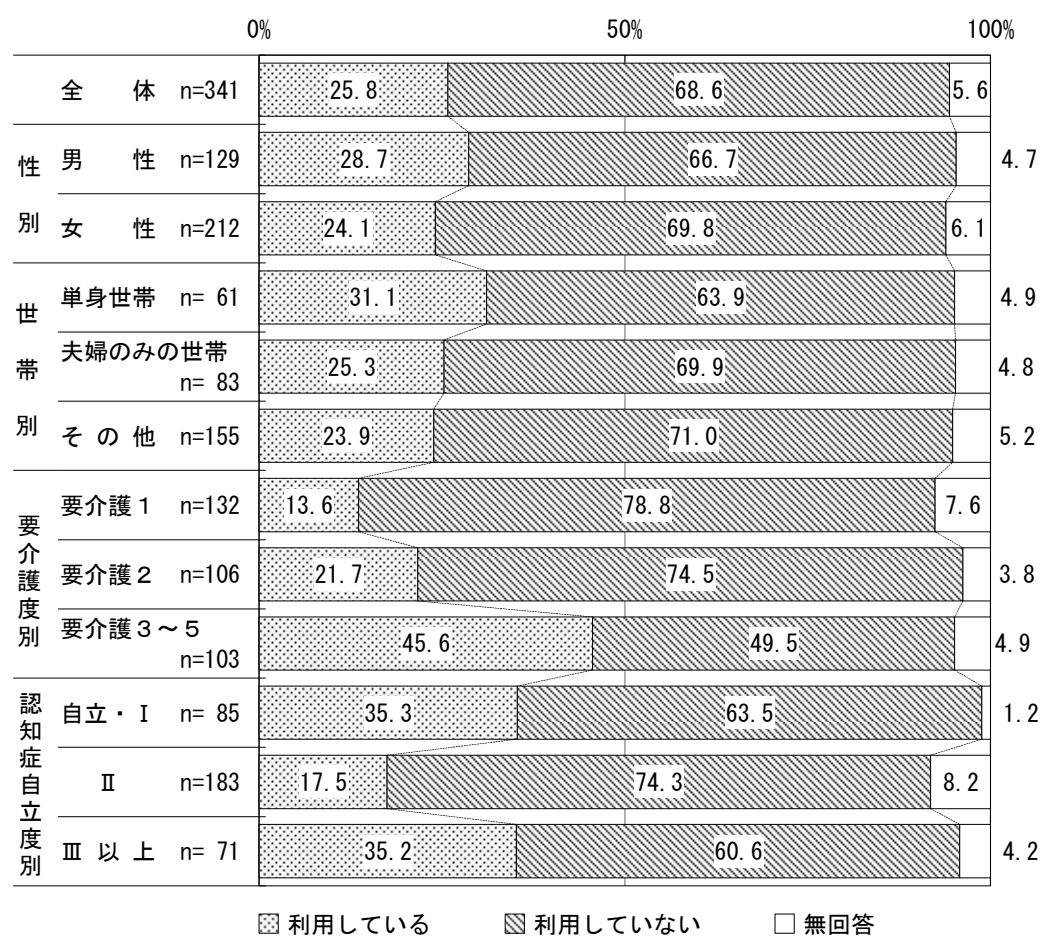
図表 2-1 施設等への入所・入居の検討状況



(2) 訪問診療

- 訪問診療を利用しているのは全体の 25.8%です。
- 性別に比べると、女性に比べて男性は「利用している」がやや高くなっています。
- 世帯別にみると、単身世帯は「利用している」が 31.1%と最も高くなっています。
- 要介護度別にみると、重度化にしたがい「利用している」が上昇し、要介護 3～5 は 45.6%となっています。
- 認知症自立度別にみると、Ⅱは 17.5%と低い率になっています。

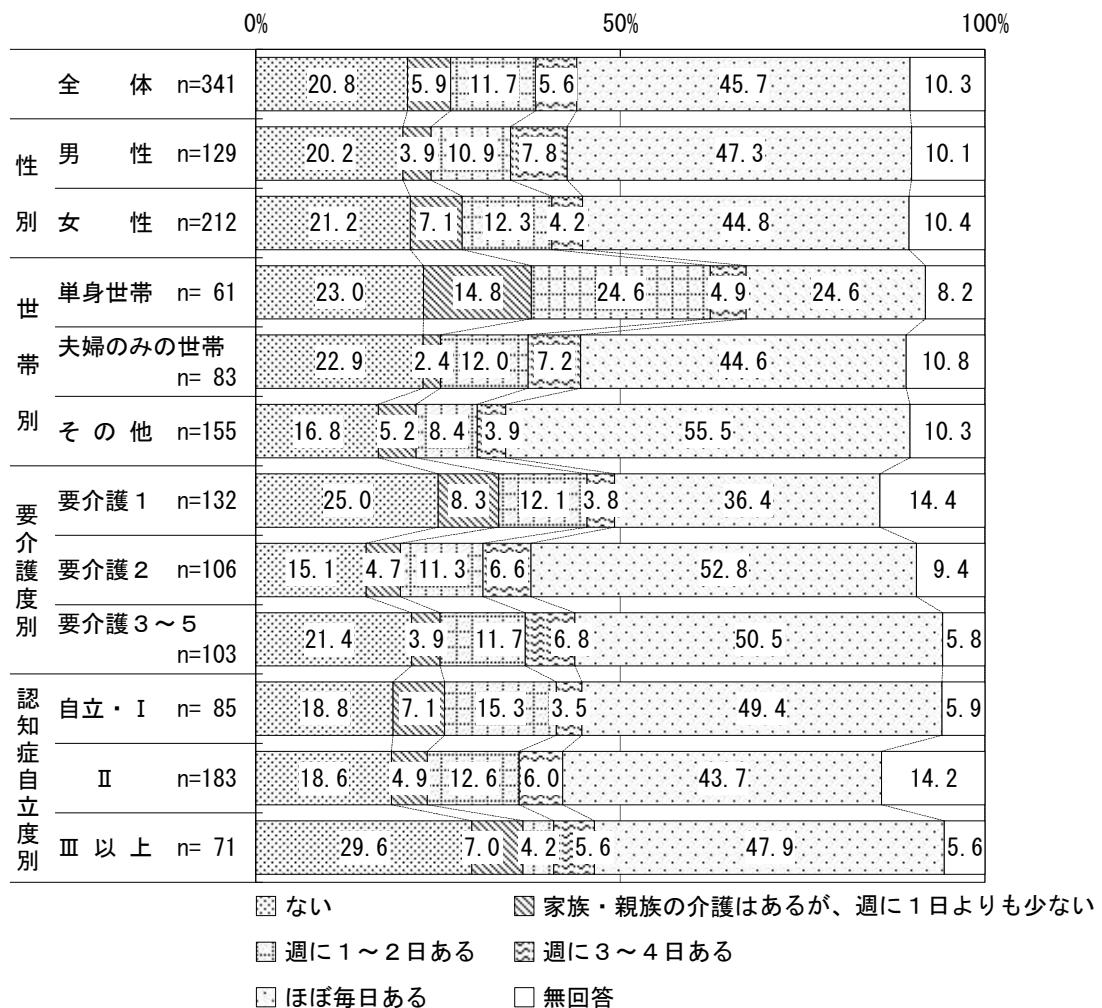
図表 2-2 訪問診療を利用しているか



(3) 家族や親族からの介護頻度

- 家族や親族からの介護頻度は、全体では「ほぼ毎日ある」が45.7%と最も高く、次いで「ない」(20.8%)、「週に1～2日ある」(11.7%)などの順となっています。
- 世帯別にみると、単身世帯はそのほかの世帯に比べて「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」及び「週に1～2日ある」が高く、「ほぼ毎日ある」が低くなっています。
- 要介護度別にみると、要介護2は「ほぼ毎日ある」が、認知症自立度別にみると、Ⅲ以上は「ない」が高いことも特徴としてあげられます。

図表2-3 家族や親族からの介護頻度

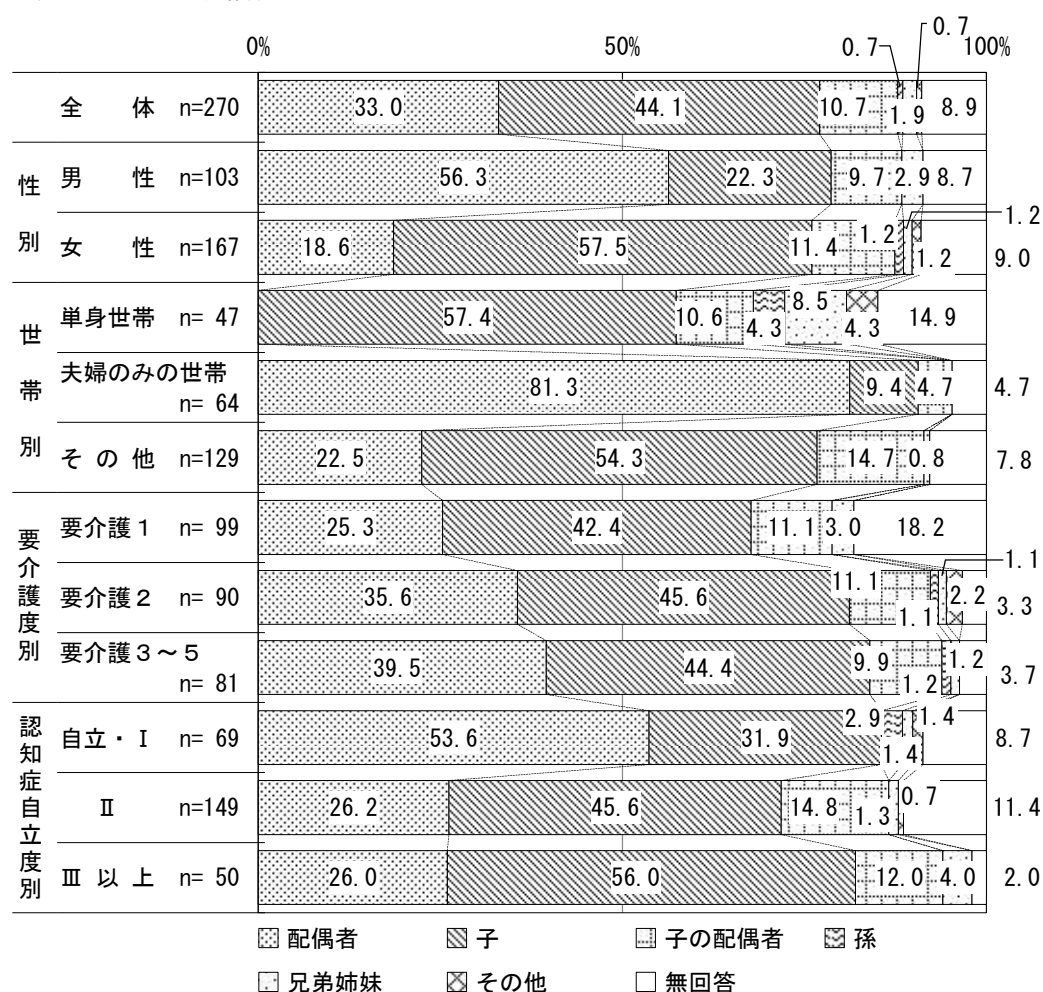


2 介護者の状況

(1) 主な介護者

- 主な介護者は、全体では「子」が44.1%と最も高く、次いで「配偶者」(33.0%)、「子の配偶者」(10.7%)の順となっています。
- 性別にみると、女性に比べて男性は「配偶者」が、男性に比べて女性は「子」がそれぞれ高くなっています。
- 世帯別にみると、単身世帯及びその他の世帯は「子」が、夫婦のみの世帯は「配偶者」がそれぞれ著しく高くなっています。また、単身世帯はそのほかの世帯に比べて「孫」及び「兄弟姉妹」が高くなっていることも特徴としてあげられます。
- 要介護度別にみると、重度化にしたがい「配偶者」が高くなる傾向にあります。
- 認知症自立度別にみると、自立・Ⅰは「配偶者」が、Ⅱ以上は「子」がそれぞれ最も高くなっています。
- その他として「姪」(2件)、「同居人」の記載がありました。

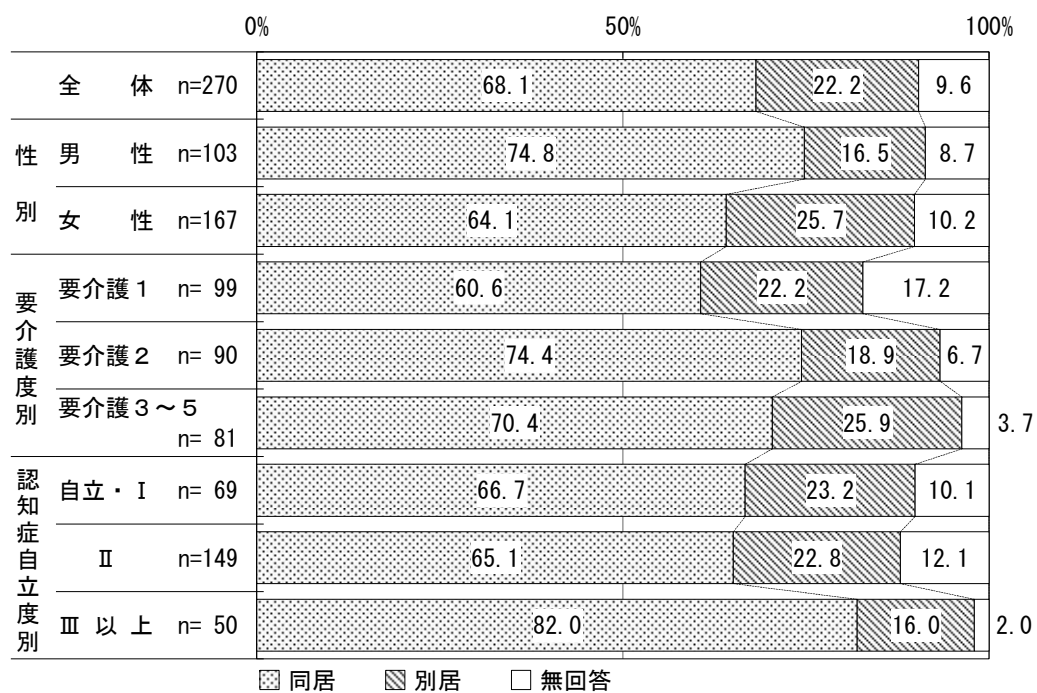
図表2-4 主な介護者



(2) 要介護者との同居の有無

- 要介護者と同居しているのは、全体の 68.1%です。
- 同居しているのは、性別にみると、女性に比べて男性が 10 ポイント以上高くなっています。要介護度別にみると、要介護 2 以上で著しく高くなっています。また、認知症自立度別にみると、Ⅲ以上で 15 ポイント以上高くなっています。

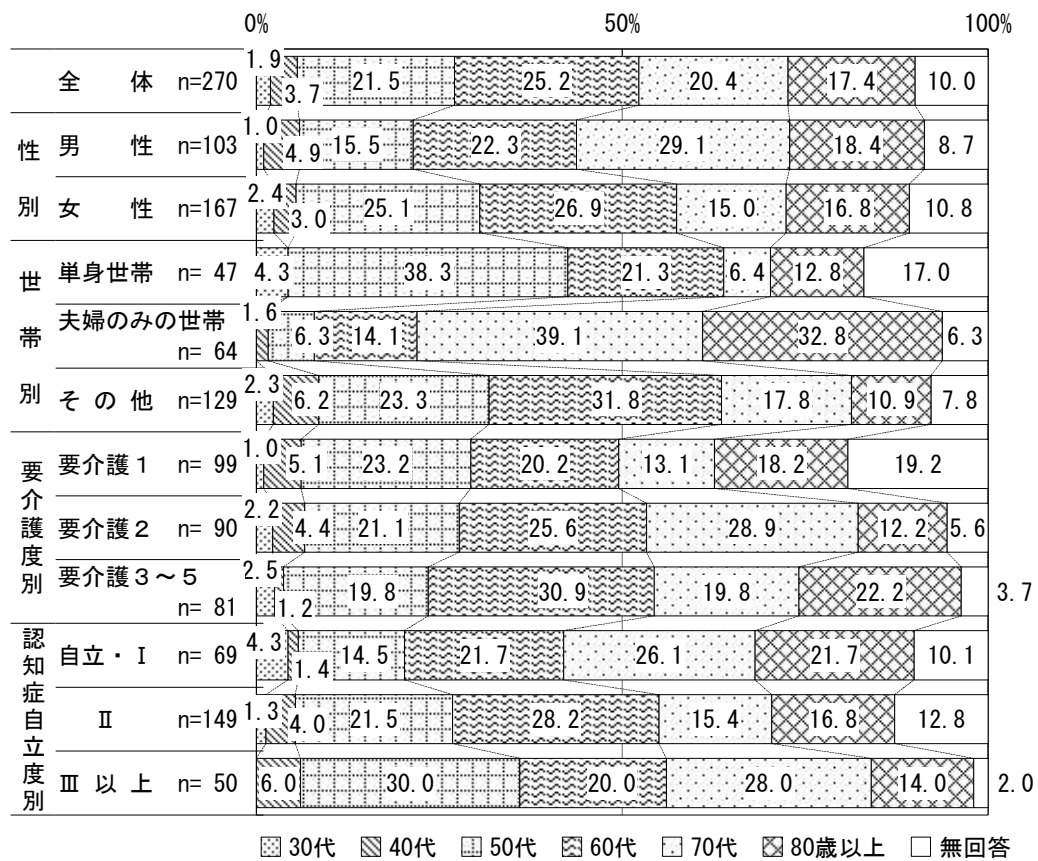
図表 2-5 要介護者との同居の有無



(3) 主な介護者の年齢

- 主な介護者の年齢は、「60代」が25.2%と最も高く、次いで「50代」(21.5%)、「70代」(20.4%)、「80代」(17.4%)などの順となっており、<60代以上>が63.0%を占めています。
- 世帯別にみると、単身世帯は「50代」が、夫婦のみの世帯は「70代」及び「80代」が、その他の世帯は「60代」がそれぞれ30%を超える高い率となっており、夫婦のみの世帯は<70代以上>が70%以上を占めています。
- 認知症自立度別にみると、重度化にしたがい、<50代以下>が高くなる傾向にあります。

図表2-6 主な介護者の年齢

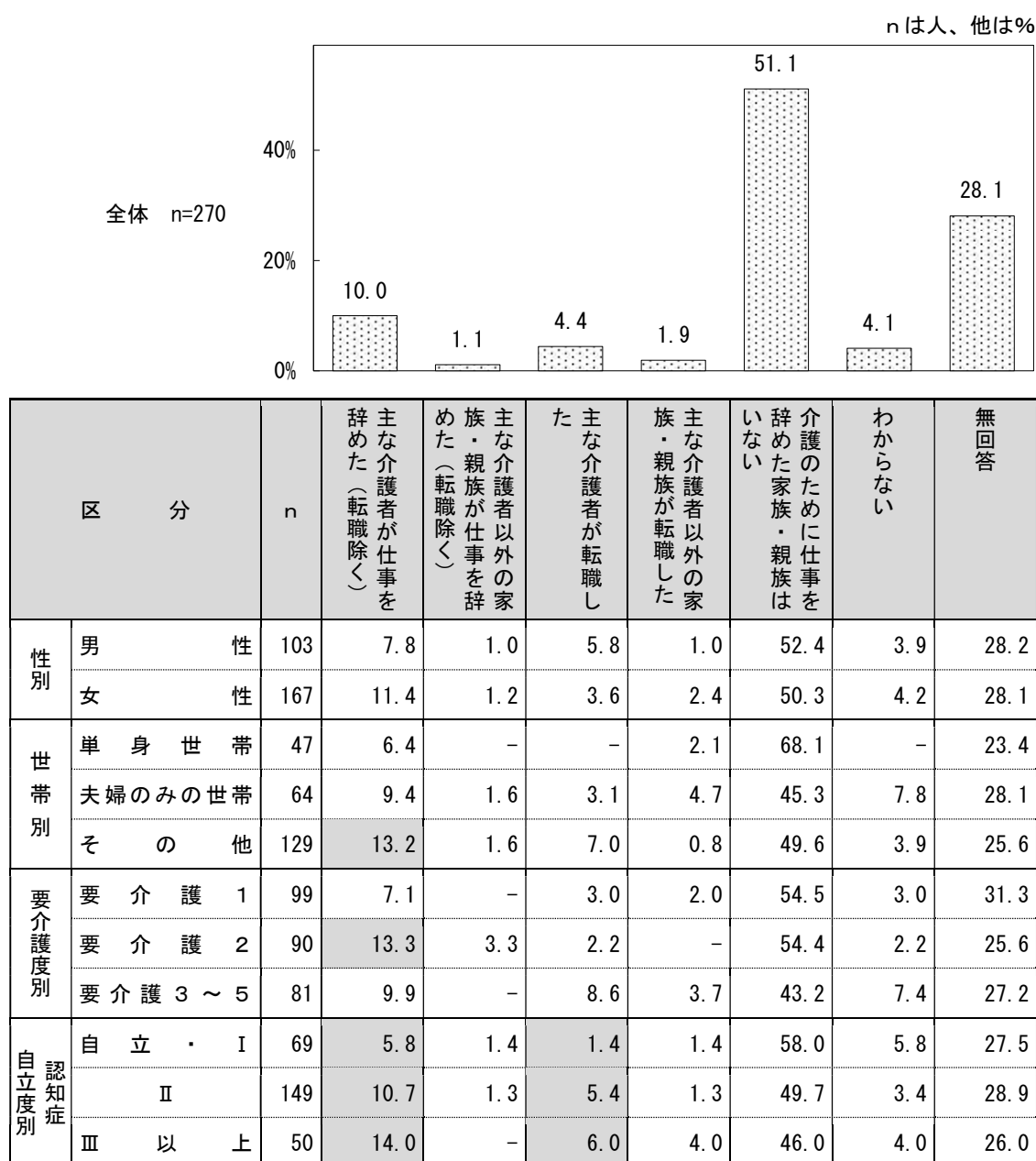


(注) 「20代未満」「20代」「わからない」と答えた人はいませんでした。

(4) 介護離職

- 過去 1 年間で介護離職があったかたずねたところ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 51.1%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（10.0%）、「主な介護者が転職した」（4.4%）などの順となっています。
- 「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は世帯別にみるとその他の世帯、要介護度別にみると要介護 2 がそれぞれ高くなっています。また、認知症自立度別にみると、重度化にしたがい高くなる傾向にあります。
- それ以外では、認知症自立度が重度化するになるにしたがい「主な介護者が転職した」が高くなる傾向にあります。

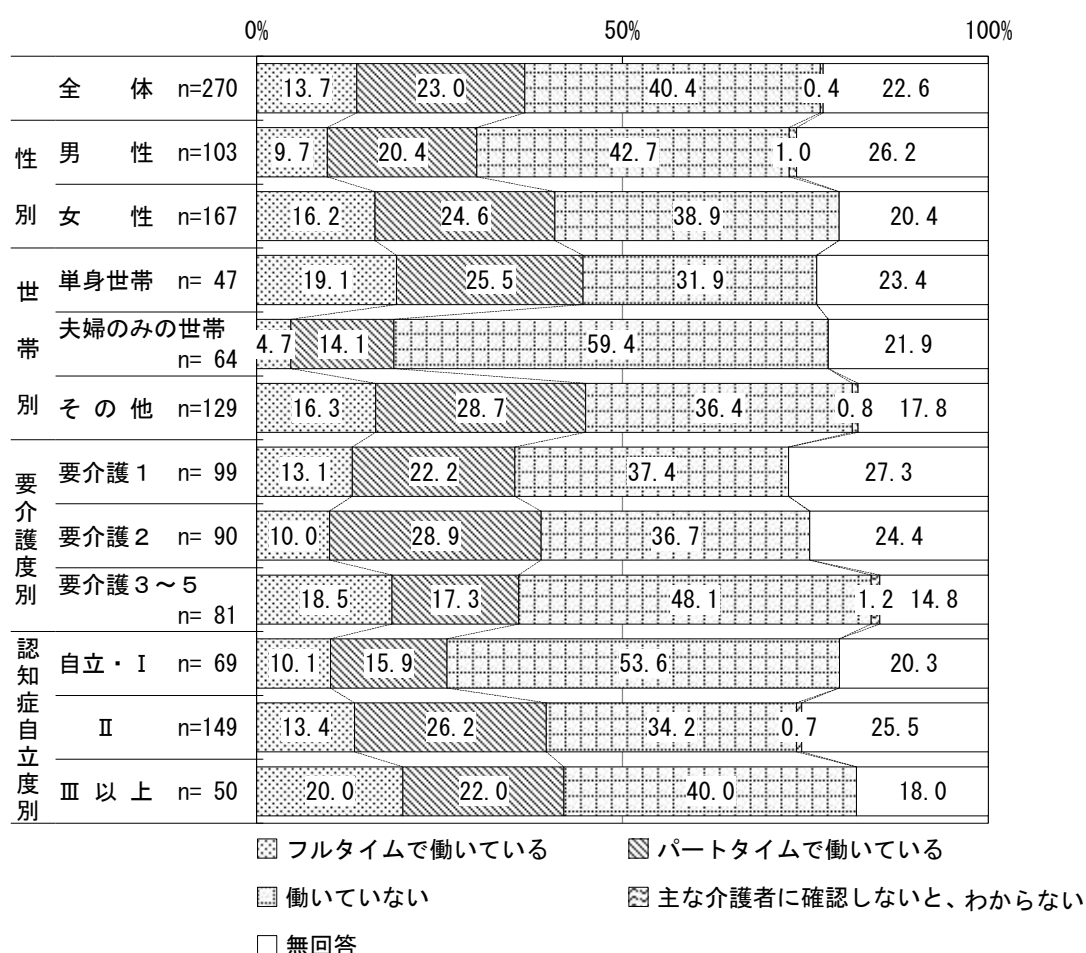
図表 2-7 過去 1 年間に介護離職があったか（複数回答）



(5) 介護者の勤務形態

- 介護者の勤務形態をたずねたところ、全体では「働いていない」が40.4%と最も高く、次いで「パートタイムで働いている」(23.0%)、「フルタイムで働いている」(13.7%)などの順となっています。
- 世帯別にみると、夫婦のみの世帯は「働いていない」が約60%を占めています。
- 要介護度別にみると、要介護1・2と比べて要介護3～5は「フルタイムで働いている」及び「働いていない」が高い率となっています。
- 認知症自立度別にみると、重度化にしたがい「フルタイムで働いている」が高くなる傾向にあります。

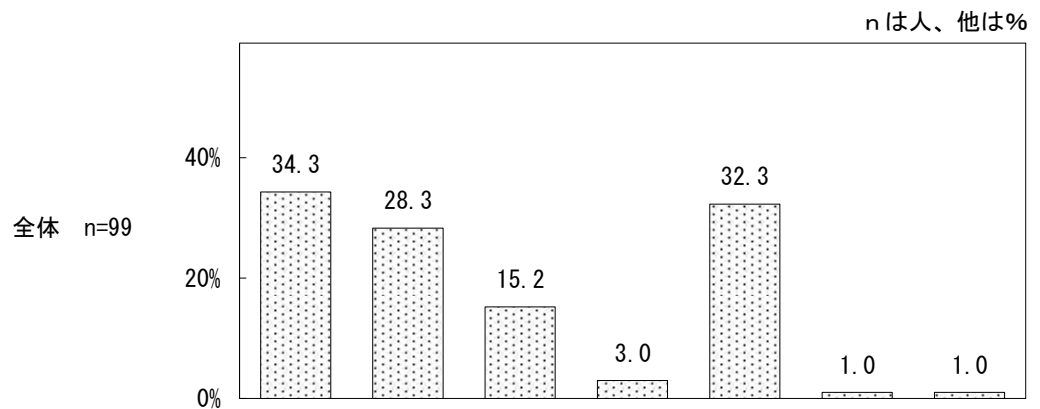
図表2-8 介護者の勤務形態



(6) 働き方の調整

- 介護をするにあたって、働き方の調整をしているかたずねたところ、全体では「特に行っていない」が 34.3%と最も高く、次いで「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」(32.3%)、「介護のために『労働時間を調整』しながら、働いている」(28.3%)などの順となっています。「特に行っていない」「主な介護者に確認しないと、わからない」「無回答」を除く 63.7%の人が介護のために何らかの働き方の調整を行っています。
- 世帯別にみると、その他の世帯は「特に行っていない」が 25.9%の低い率となっています。
- 要介護度別にみると、重度化にしたがい「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が高くなる傾向にあります。
- 認知症自立度別にみると、重度化にしたがい「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」が高くなる傾向にあります。また、自立・Ⅰは「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が 50.0%の高い率となっています。
- 介護者の勤務形態別にみると、パートタイムに比べてフルタイムは「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」が、フルタイムに比べてパートタイムは「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」がそれぞれやや高くなっています。

図表 2－9 働き方の調整（複数回答）

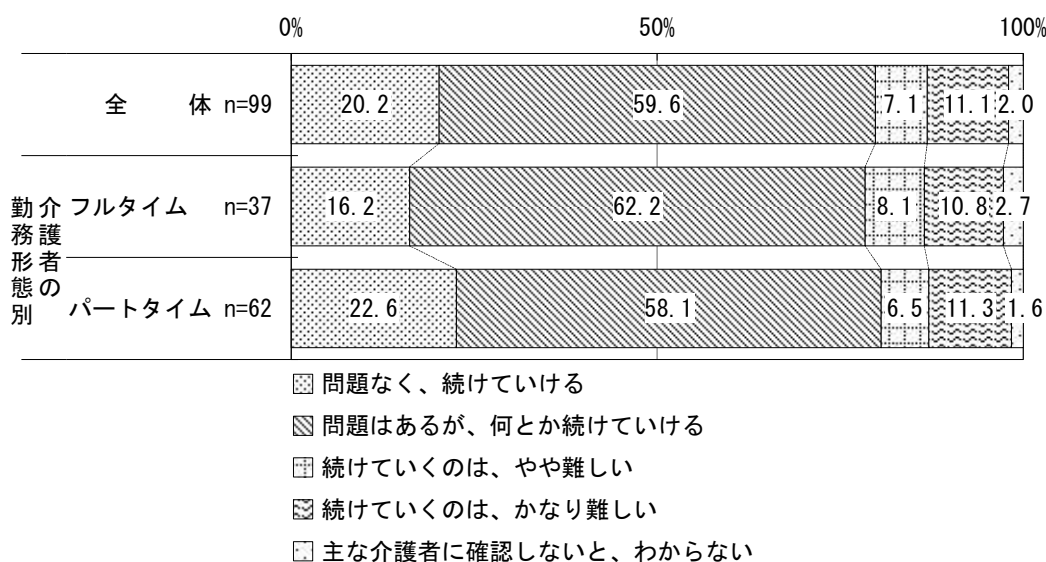


区 分		n	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整」しながら働いている	介護のために、「労働時間」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている	介護のために、「上記以外の調整をしながら働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
性別	男 性	31	35.5	29.0	9.7	6.5	38.7	—	—
	女 性	68	33.8	27.9	17.6	1.5	29.4	1.5	1.5
世帯別	単 身 世 帯	21	42.9	23.8	14.3	4.8	23.8	4.8	—
	夫婦のみの世帯	12	66.7	25.0	16.7	—	33.3	—	—
	そ の 他	58	25.9	27.6	15.5	3.4	36.2	—	1.7
要介護度別	要 介 護 1	35	34.3	22.9	14.3	2.9	45.7	—	—
	要 介 護 2	35	40.0	28.6	8.6	5.7	25.7	2.9	—
	要 介 護 3 ～ 5	29	27.6	34.5	24.1	—	24.1	—	3.4
自立認知症別	自 立 ・ I	18	33.3	50.0	5.6	—	27.8	5.6	—
	II	59	42.4	22.0	13.6	5.1	32.2	—	—
	III 以 上	21	14.3	23.8	28.6	—	38.1	—	4.8
介護者の勤務形態	フルタイム	37	32.4	21.6	18.9	2.7	35.1	2.7	2.7
	パートタイム	62	35.5	32.3	12.9	3.2	30.6	—	—

(7) 就労と介護の両立の継続

- 今後も働きながら介護を続けていけそうかたずねたところ、全体では「問題はあるが、何とか続けていける」が 59.6%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(20.2%)、「続けていくのは、かなり難しい」(11.1%)、「続けていくのは、やや難しい」(7.1%) の順となっています。また、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合計した＜継続は可能＞が 79.8%、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合計した＜継続は困難＞が 18.2%となっています。
- 介護者の勤務形態別にみると、フルタイムに比べてパートタイムは「問題なく、続けていける」が 6.4 ポイント高くなっています。

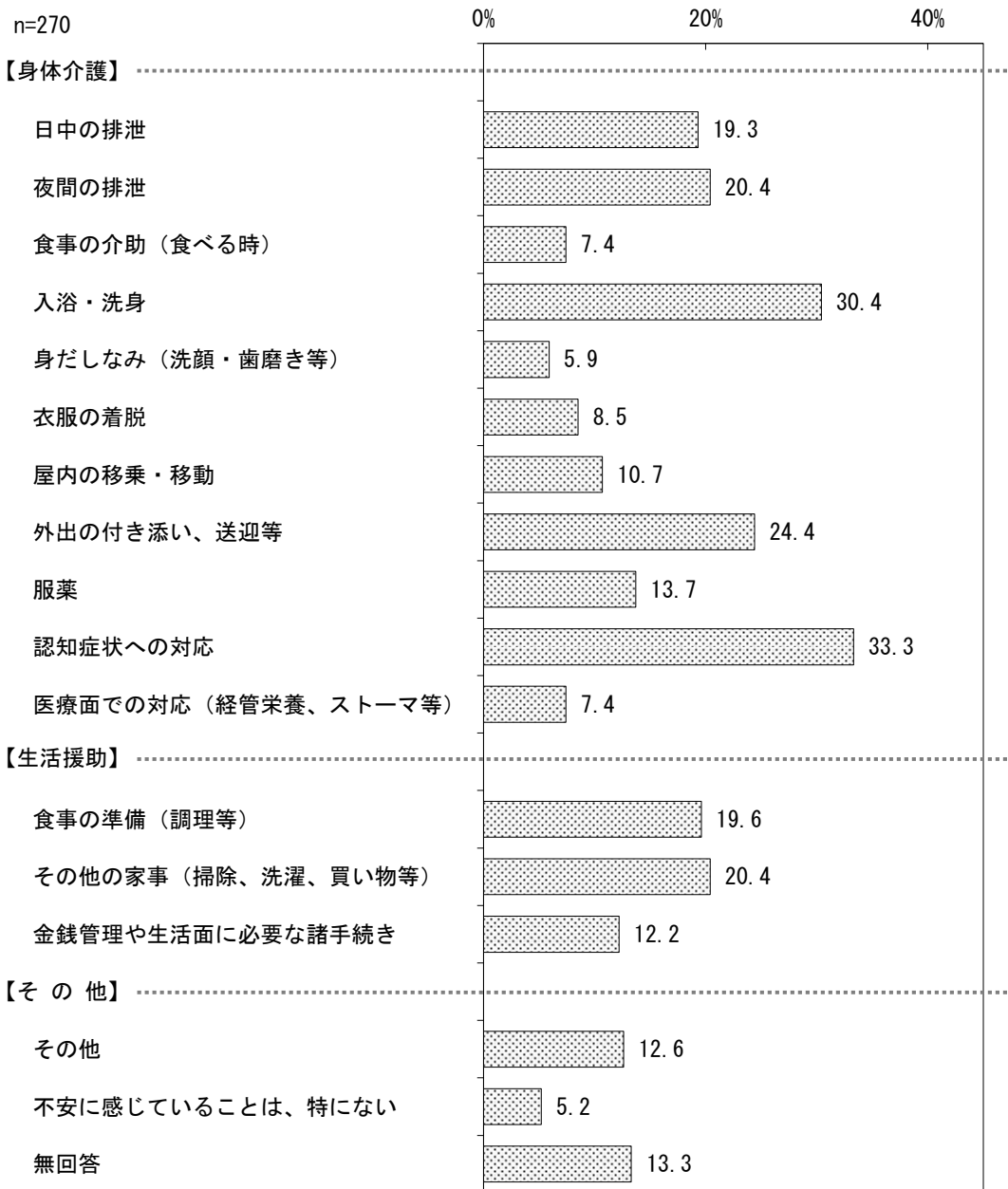
図表 2-10 今後も働きながら介護を続けていけそうか



(8) 介護者が不安に思う介護

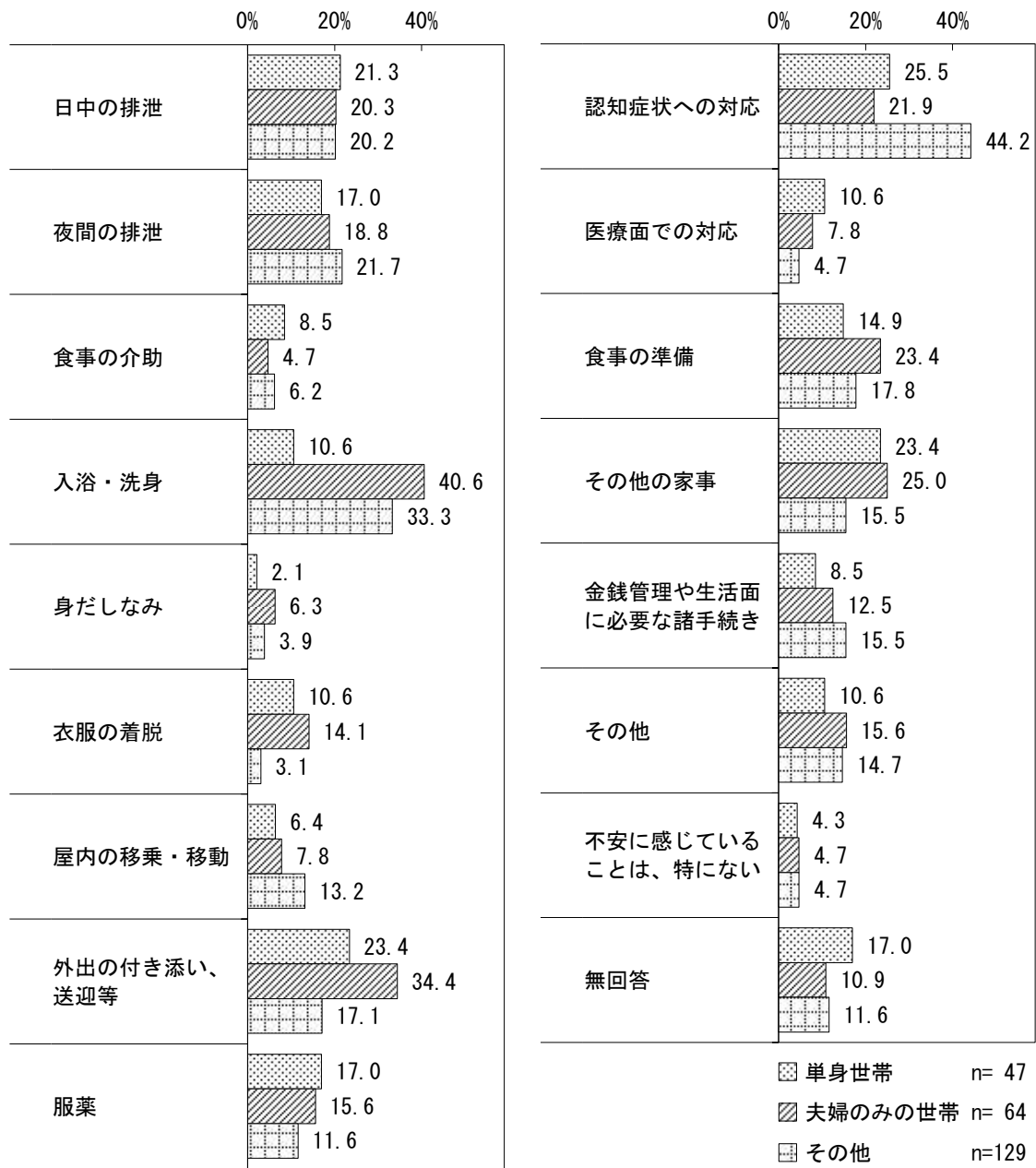
- 介護者が不安に思う介護をたずねたところ、全体では「認知症状への対応」が33.3%と最も高く、次いで「入浴・洗身」(30.4%)、「外出の付き添い、送迎等」(24.4%)の順となっており、身体介護に不安を抱えている人が多いことが伺えます(図表2-11)。
- 世帯別にみると、夫婦のみの世帯は「入浴・洗身」「外出の付き添い・送迎等」が、その他の世帯は「認知症状への対応」がそれぞれ比較的高い率となっています(図表2-12)。
- 要介護度別にみると重度化にしたがい「夜間の排泄」「食事の介助」「入浴・洗身」「屋内の移乗・移動」が高く、「外出の付き添い、送迎等」「服薬」「食事の準備」「その他の家事」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が低くなる傾向にあります。また、要介護1は「認知症状への対応」が43.4%と著しく高くなっています(図表2-13)。
- 認知症自立度別にみると、重度化にしたがい「外出の付き添い」「食事の準備」「その他の家事」は低下傾向にあるのに対し、「認知症状への対応」は上昇傾向にあり、Ⅲ以上では54.0%を占めています(図表2-14)。
- 利用しているサービスの組み合わせ別にみると、訪問系のみは「日中の排泄」(31.3%)、訪問系を含む組み合わせは「外出の付き添い、送迎等」(29.0%)、通所系・短期系のみは「認知症状への対応」(42.3%)、未利用は「入浴・洗身」(39.2%)がそれぞれ最も高くなっています(図表2-15)。
- 施設入所・入居の検討状況別にみると、検討していない人は「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備」「その他の家事」が、検討中の人は「認知症状への対応」がそれぞれ比較的高い率となっています。特に、検討中の人の「認知症状への対応」は50%以上を占めています(図表2-16)。
- 勤務形態別にみると、パートタイムは「認知症状への対応」が50.0%の高い率となっています。また未就労は「入浴・洗身」及び「外出の付き添い、送迎等」が、フルタイムは「不安に感じていることは、特にない」が比較的高い率となっていることも特徴としてあげられます(図表2-17)。
- その他として図表2-18の内容が記載されていました。

図表 2-11 介護者が不安に思う介護（複数回答）

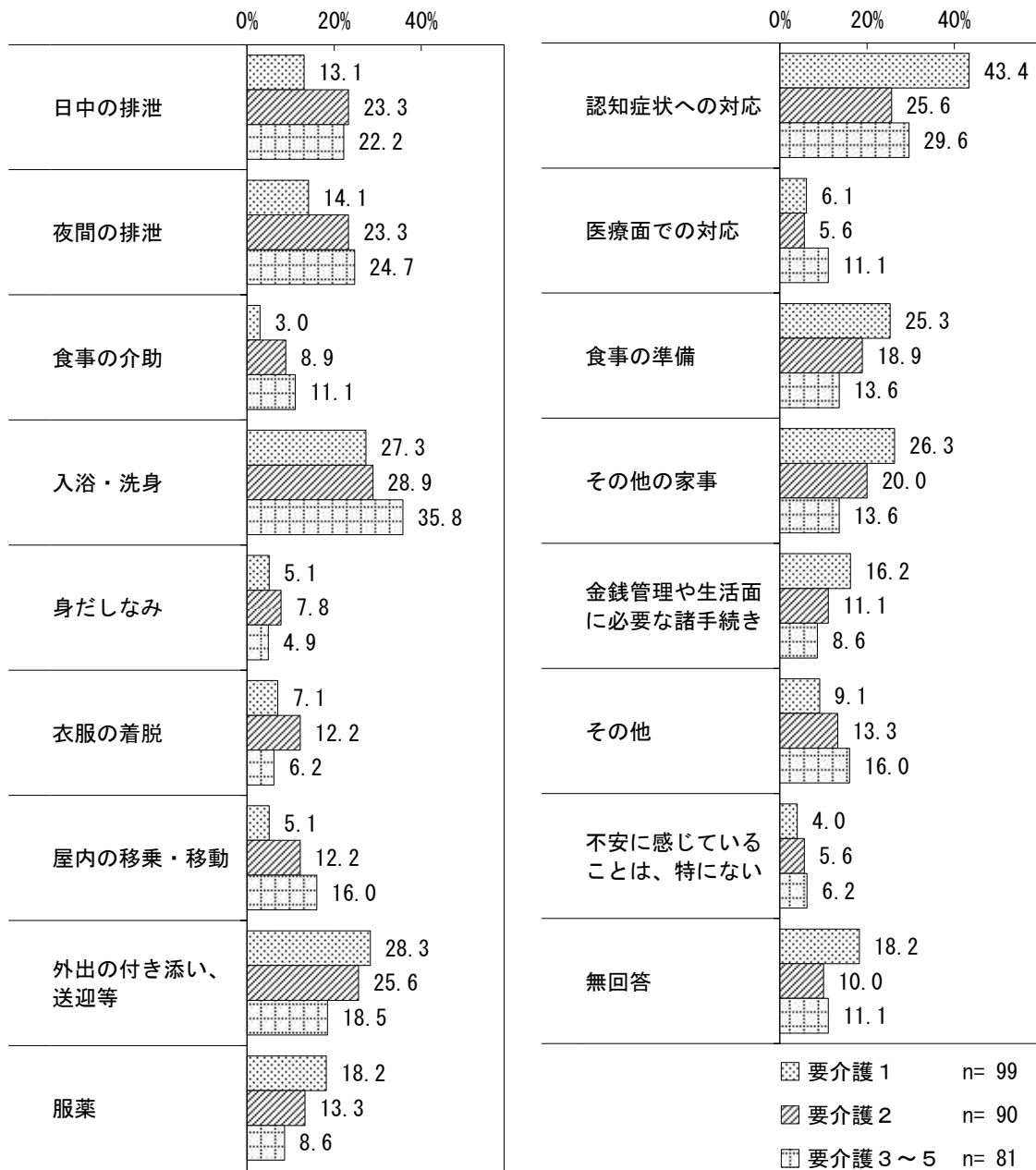


（注）「主な介護者に確認しないと、わからない」と答えた人はいませんでした。

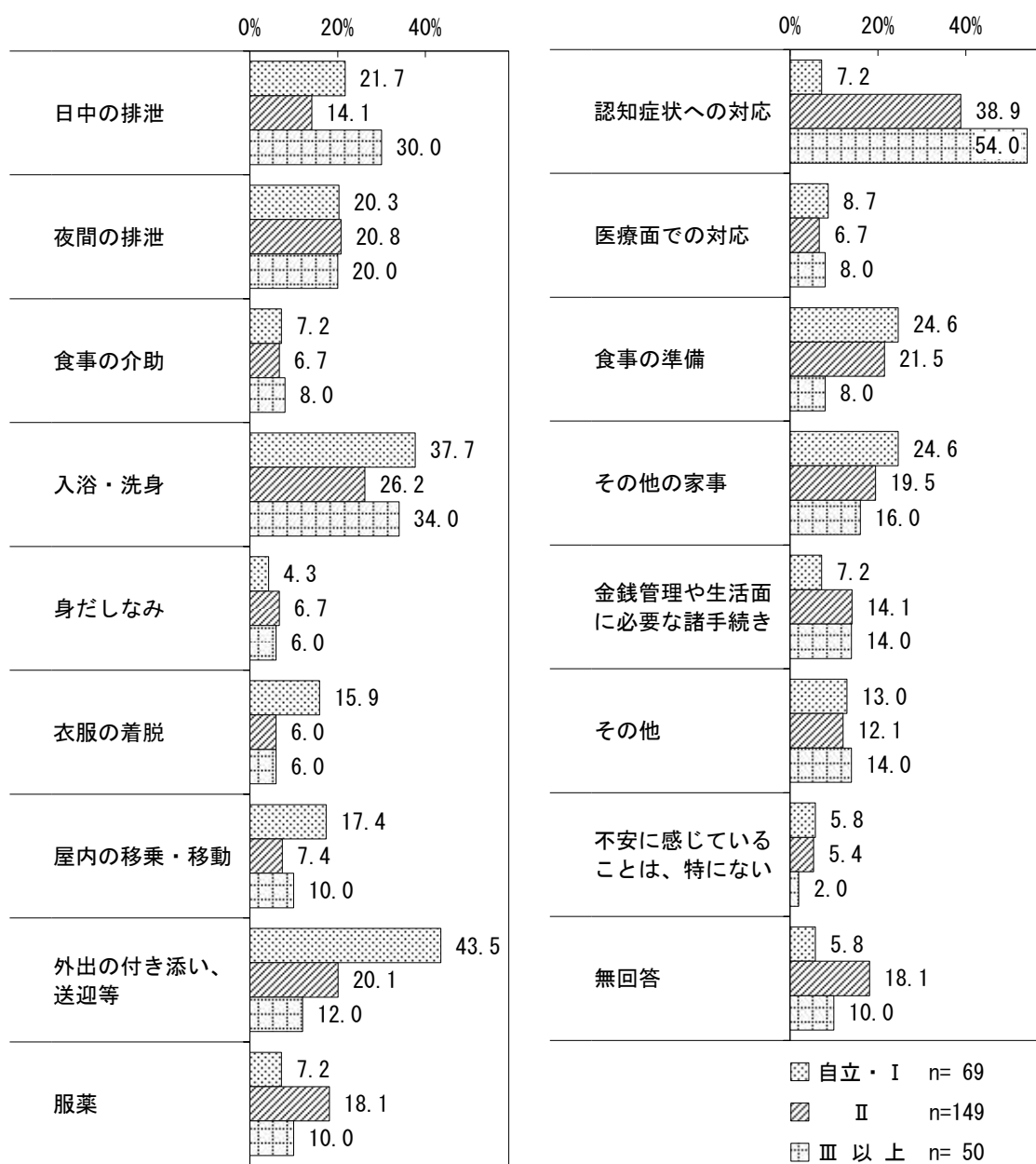
図表 2-12 介護者が不安に思う介護（複数回答、世帯別）



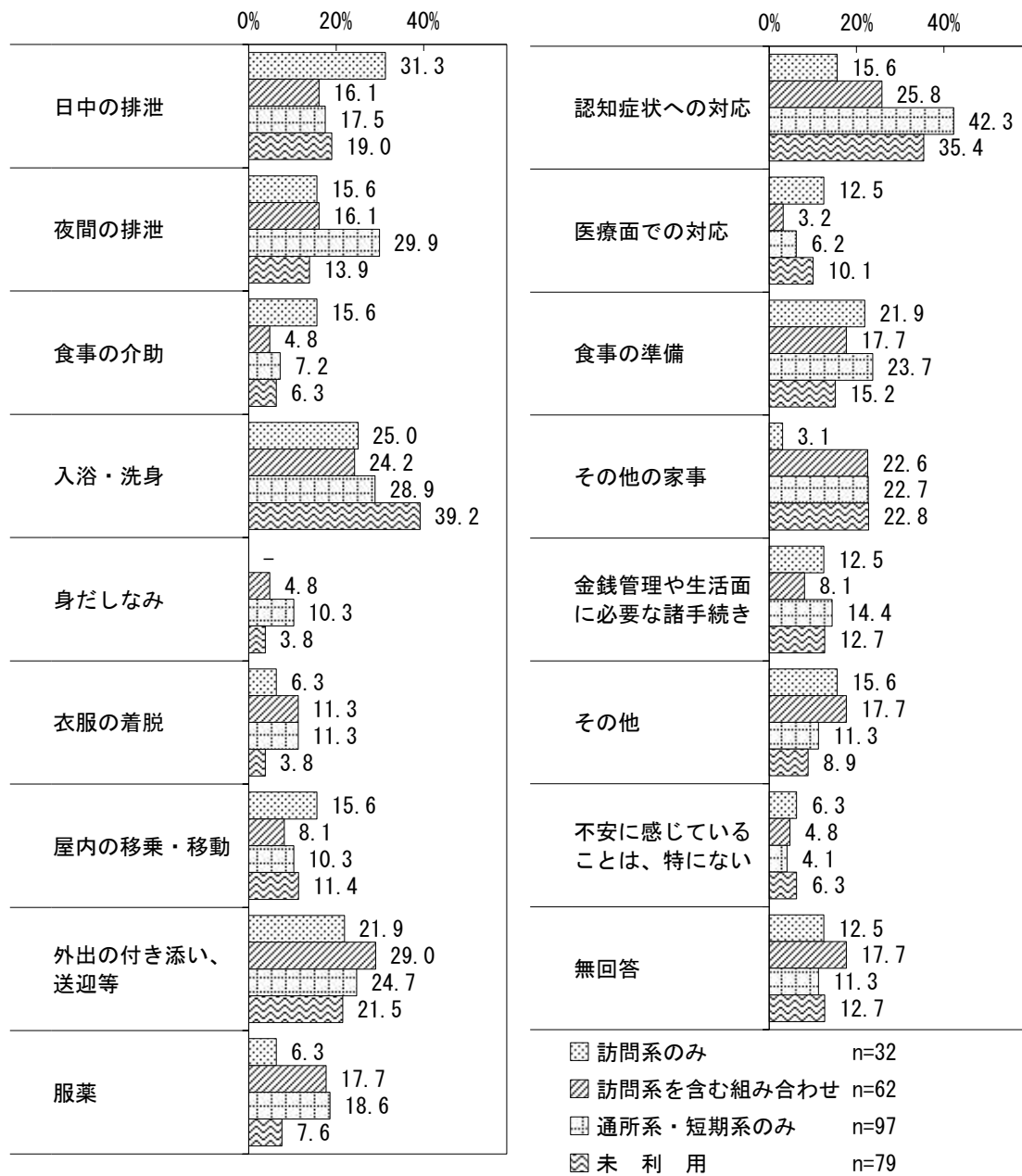
図表 2-13 不安に思う介護（複数回答、要介護度別）



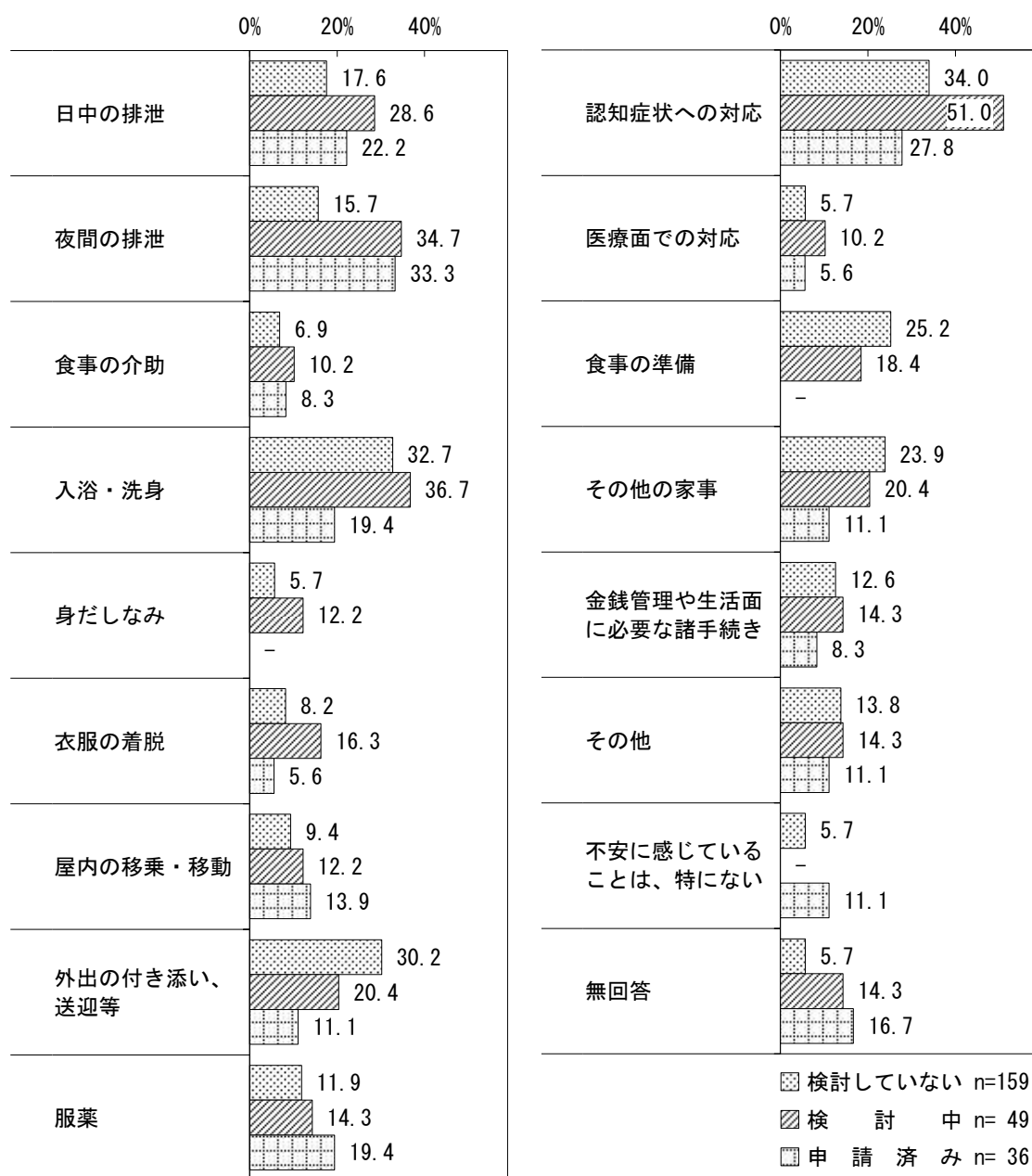
図表 2-14 不安に思う介護（複数回答、認知症自立度別）



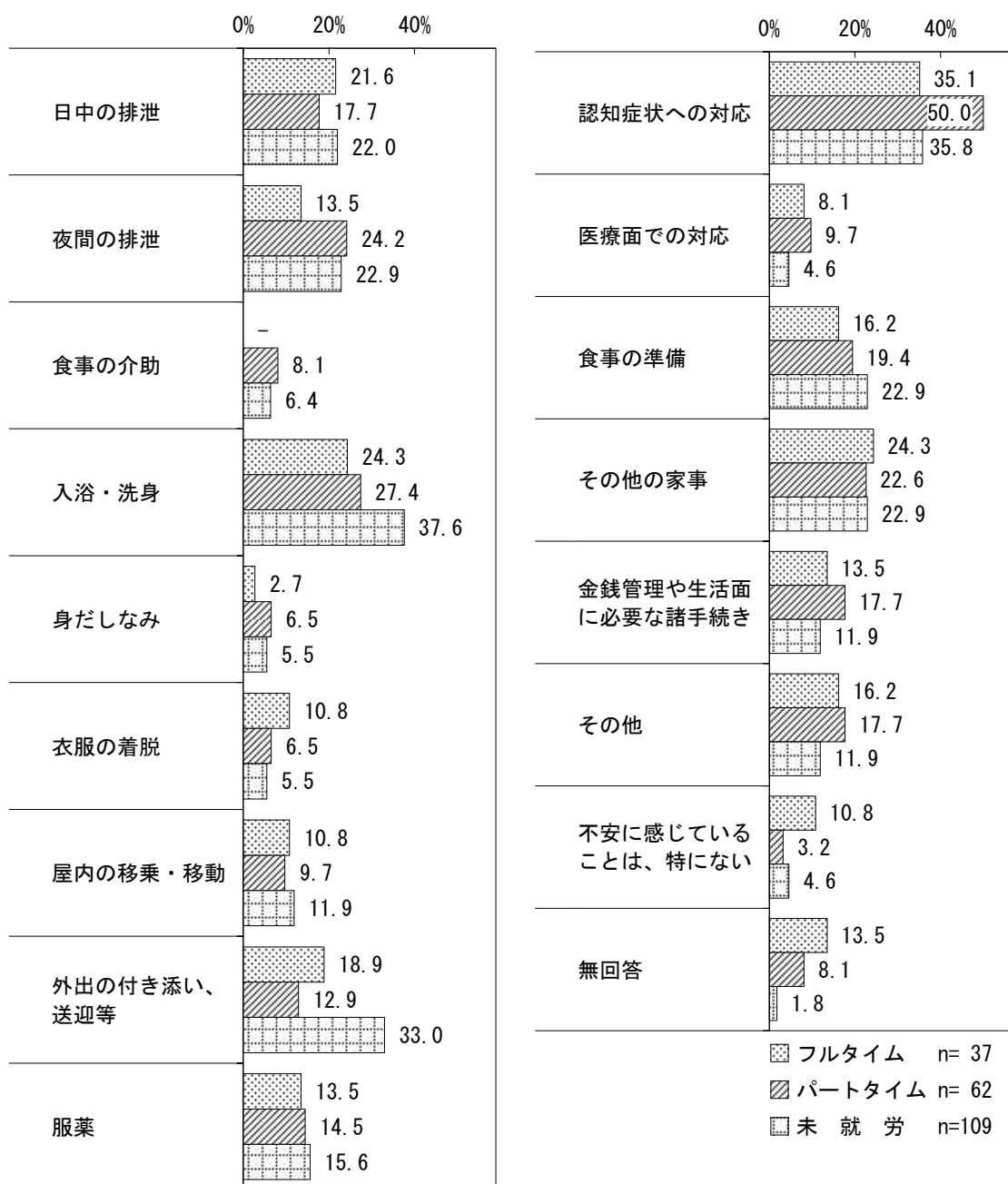
図表 2-15 不安に思う介護（複数回答、利用サービスの組み合わせ別）



図表 2-16 不安に思う介護（複数回答、施設入所・入居の検討状況別）



図表 2-17 不安に思う介護（複数回答、勤務形態別）



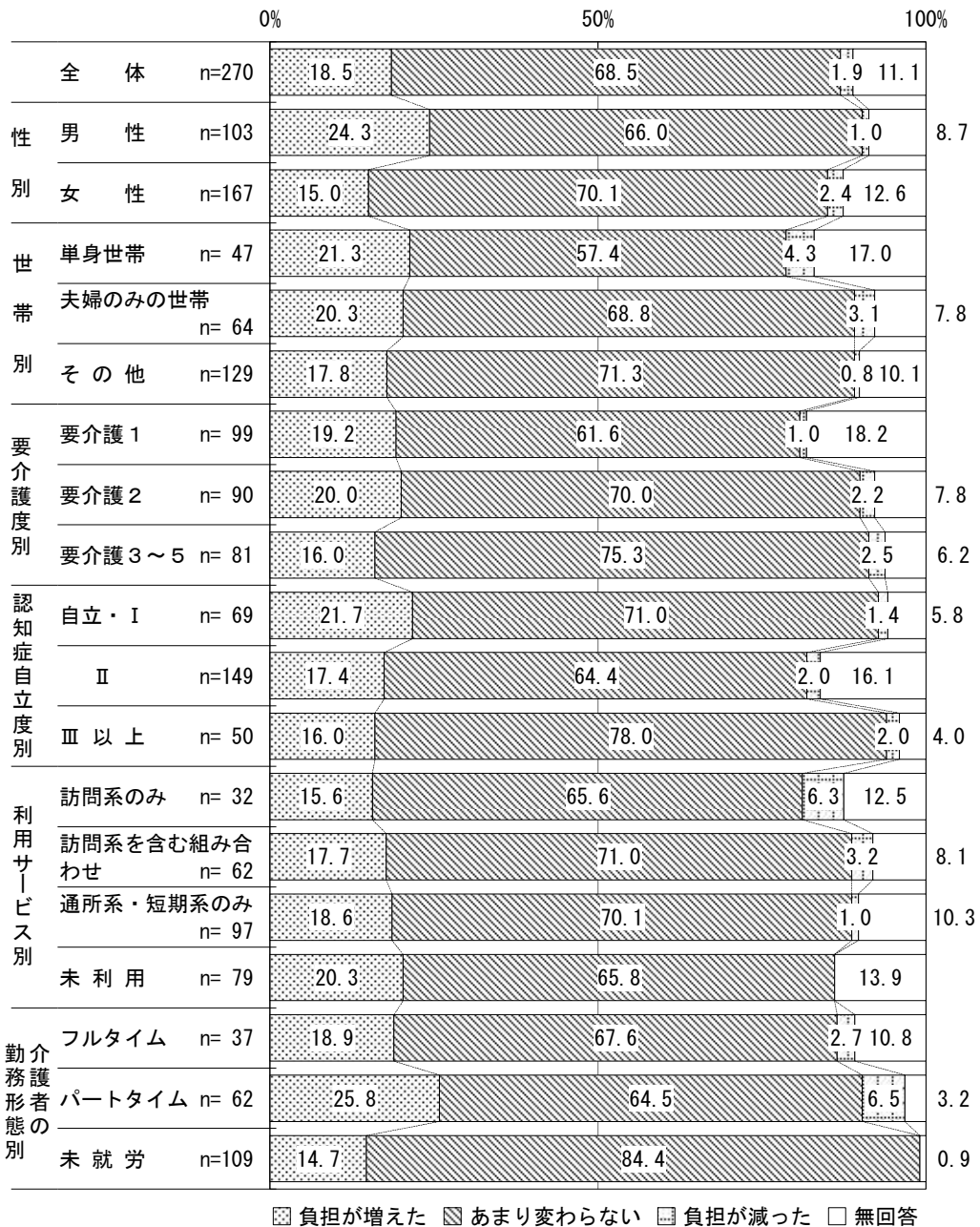
図表 2-18 不安に思う介護（複数回答、その他）

・ひとり暮らしのため、生きているか、火の始末など ・ロコモの症状の進行 ・介護度が上がったときの対応 ・症状の悪化 ・動けなくなった時の介護 ・認知症の進行 ・病気の再発 ・急変した時の対応 ・金銭面（3件） ・施設入所時の費用 ・施設での人間関係 ・紙パンツ、コルセットを嫌がる ・浮腫と褥瘡の手入れ ・食事摂取量の低下 ・身体の全て	・身体障がい者との同時介護 ・精神的不安定 ・体の衰え ・体調管理、睡眠不足 ・自分が動けなくなった時の妻の介護 ・自分の健康（2件） ・介護者がいつまで健康でいられるか ・腰や足が悪く補助できない時もある ・病気、体力がなくなったとき ・身体機能の低下が生じたら ・日常生活全て ・自由な時間がない ・不眠状態、精神的疲労 ・夫が単身赴任のため負担が大きい ・歩行器での転倒 ・老老介護の不安
--	--

(9) 外出自粛による介護の負担感の変化

- 外出自粛によって介護の負担感が変化したかたずねたところ、全体では「あまり変わらない」が 68.5%を占めており、「負担が増えた」が 18.5%、「負担が減った」が 1.9%となっています。
- 「負担が増えた」は、要介護者の性別にみると女性に比べて男性が 9.3 ポイント高くなっています。認知症自立度別にみると、重度化にしたがい低下傾向にあります。利用サービス別にみると、訪問系は 15.6%と比較的低いのに対し、未利用は 20.3%の高い率となっています。また、介護者の勤務形態別にみると、パートタイムは 25.8%の高い率となっています。

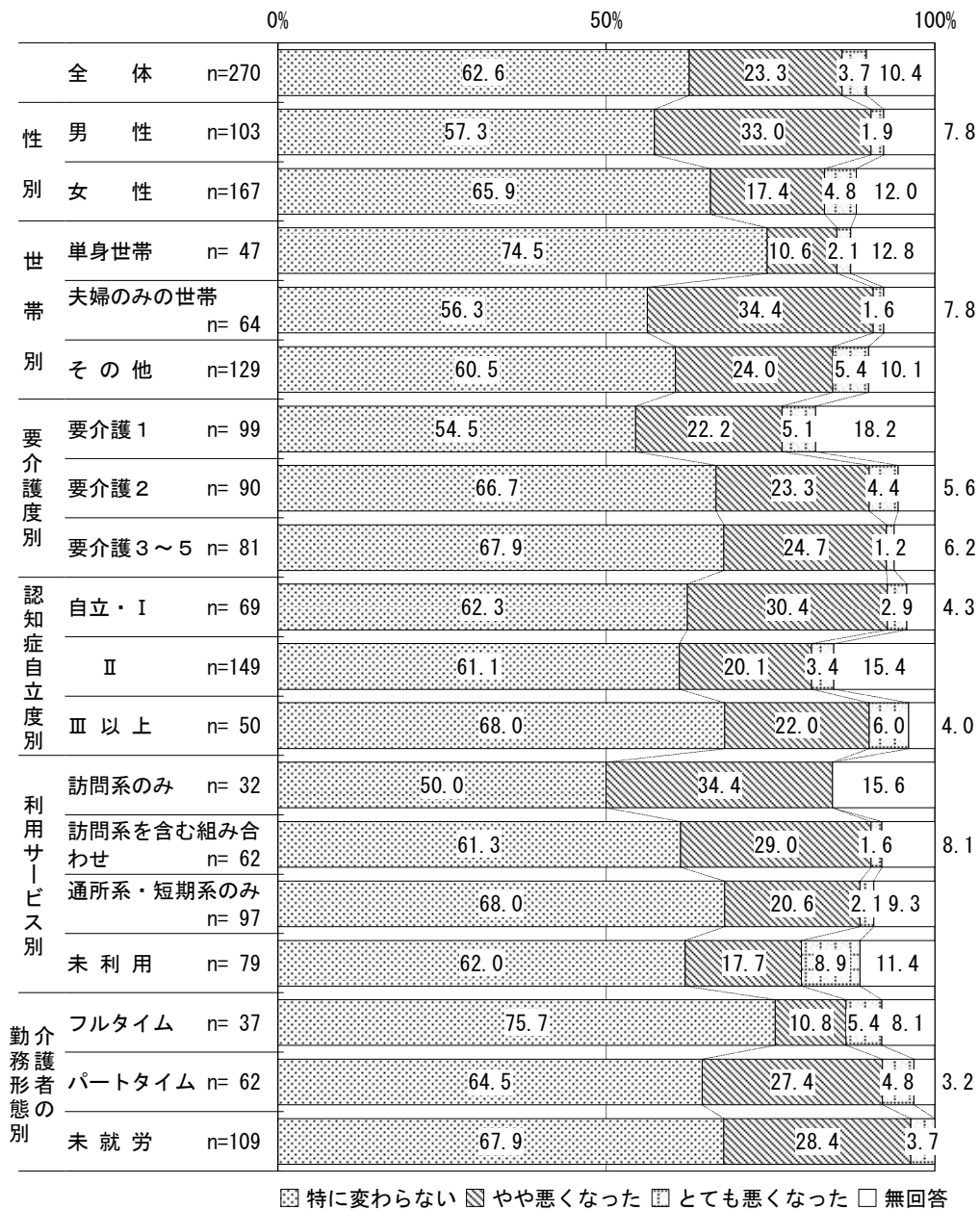
図表 2-19 外出自粛による介護の負担感の変化



(10) 外出自粛による介護者の体調の変化

- 外出自粛による介護者の体調の変化をたずねたところ、全体では「特に変わらない」が 62.6%を占めており、「やや悪くなった」が 23.3%、「とても悪くなった」が 3.7%となっています。「やや悪くなった」と「とても悪くなった」を合計した＜悪くなった＞は 27.0%です。
- ＜悪くなった＞は、要介護者の性別にみると、女性に比べて男性が高く、世帯別にみると、夫婦のみ世帯は 36.0%の高い率となっています。また、認知症自立度別にみると自立・Ⅰ、利用サービス別にみると訪問系のみも 30%を超える高い率となっています。介護者の勤務形態別にみると、フルタイムは 16.2%の比較的低い率となっています。

図表 2-20 外出自粛による介護者の体調の変化



3 介護保険サービス等

(1) 利用している介護保険サービス

- 介護保険サービスの利用状況を見ると、「通所介護」が47.8%と突出して高く、次いで「訪問介護」が22.9%、「訪問看護」が16.4%などの順となっています。
- 世帯別にみると、単身世帯では「訪問介護」が他の世帯に比べて高くなっています。
- 要介護度別にみると、全般的に重度化にしたがい利用率が高くなっていく傾向がありますが、「通所介護」は要介護1・2が高くなっています。

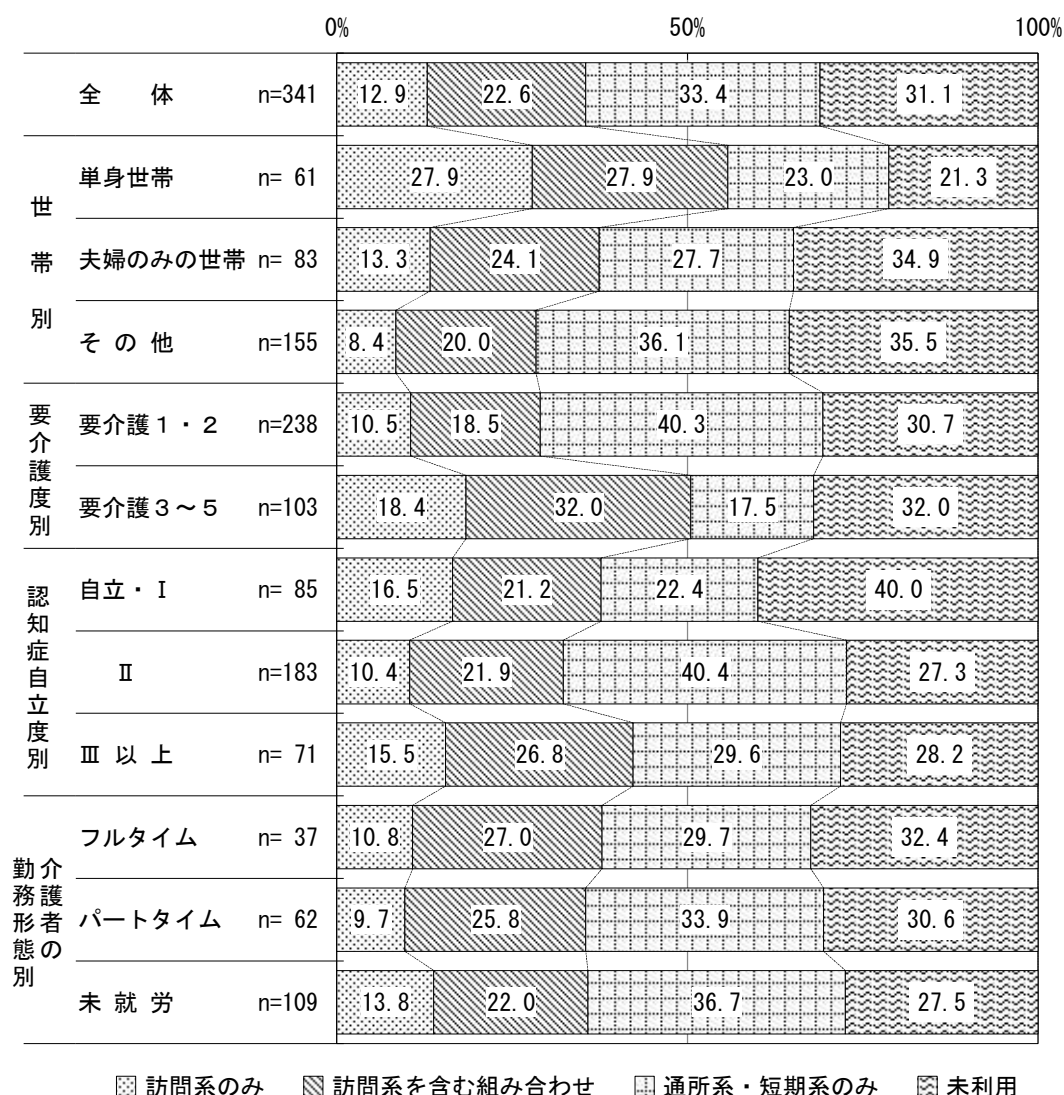
図表2-21 利用している介護保険サービス（複数回答）



(2) 利用しているサービスの組み合わせ

- 利用しているサービスの組み合わせをみると、「通所系・短期系のみ」が33.4%を占め、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が22.6%などとなっています。
- 世帯類型別にみると、単身世帯では「訪問系のみ」および「訪問系を含む組み合わせ」が高くなっています。
- 要介護度別、認知症自立度別ともに、重度化にしたがい「訪問系を含む組み合わせ」が高くなっています。

図表2-22 利用しているサービスの組み合わせ

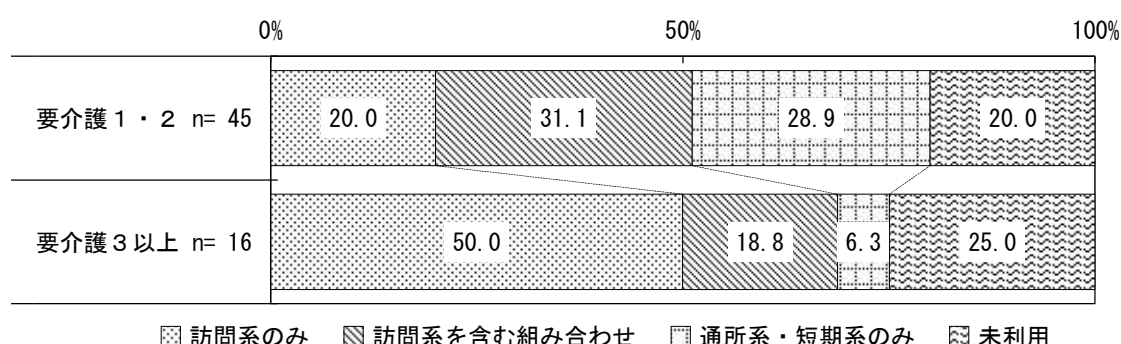


(3) 要介護度別・世帯類型別のサービス利用の組み合わせ

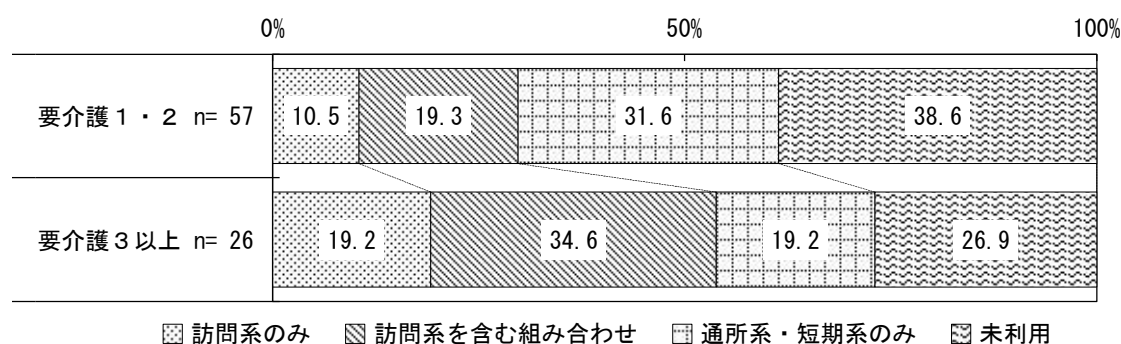
- サービス利用の組み合わせを、①単身世帯、②夫婦のみ世帯、③その他の世帯類型別に分けて、要介護度別にみると、単身世帯は重度化にしたがい「訪問系のみ」が大幅に高くなり、「訪問系を含む組み合わせ」が低下します。夫婦のみの世帯およびその他は「訪問系のみ」および「訪問系を含む組み合わせ」が重度化にしたがい高くなっています。
- 「通所系・短期系のみ」は、いずれの世帯類型においても重度化に従い低下します。

図表 2-23 要介護度別・世帯類型別のサービス利用の組み合わせ

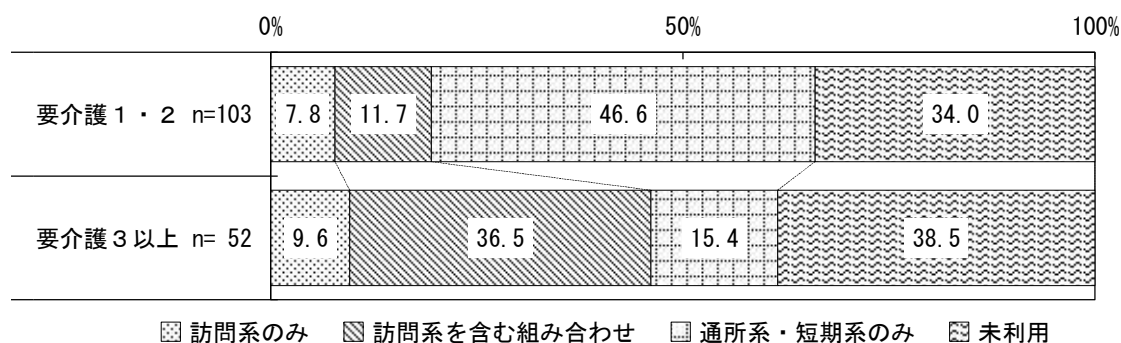
① 単身世帯



② 夫婦のみ世帯



③ その他

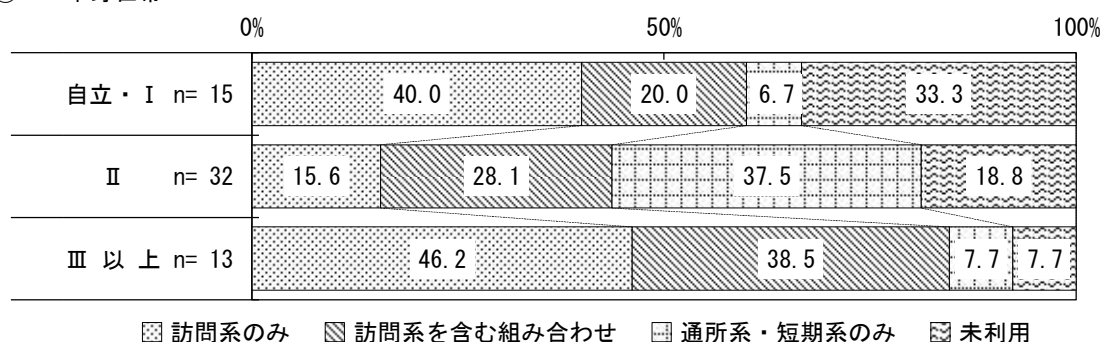


(4) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス利用の組み合わせ

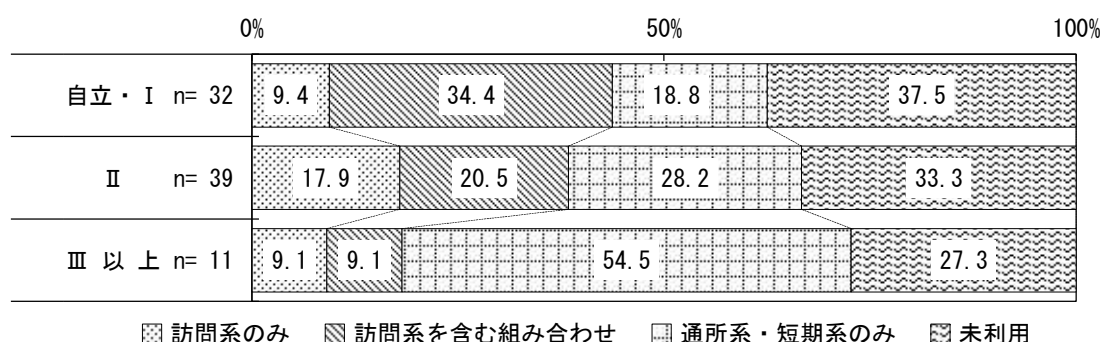
- サービス利用の組み合わせを、①単身世帯、②夫婦のみ世帯、③その他の世帯類型別に分けて、認知症自立度別にみると、単身世帯のⅢ以上では「訪問系のみ」および「訪問系を含む組み合わせ」が85%近くを占めています。
- 夫婦のみ世帯では、重度化にしたがい「訪問系のみ」および「訪問系を含む組み合わせ」の合計が低くなり、「通所系・短期系のみ」が高くなっています。

図表 2-24 認知症自立度別・世帯類型別のサービス利用の組み合わせ

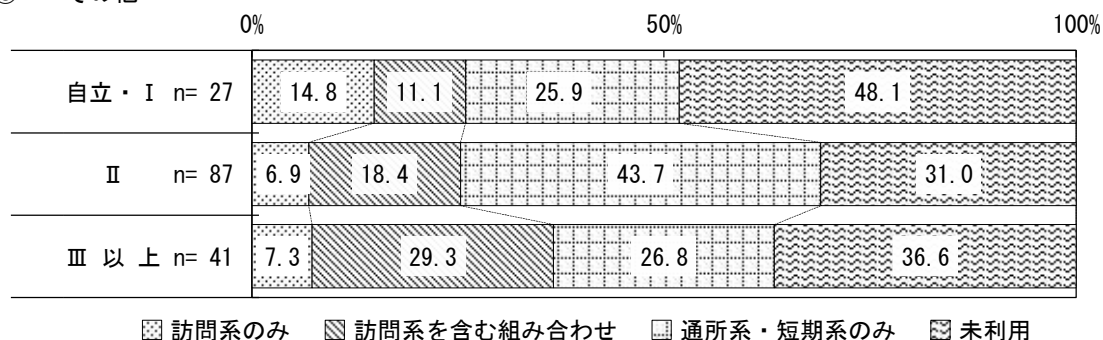
④ 単身世帯



⑤ 夫婦のみ世帯



⑥ その他

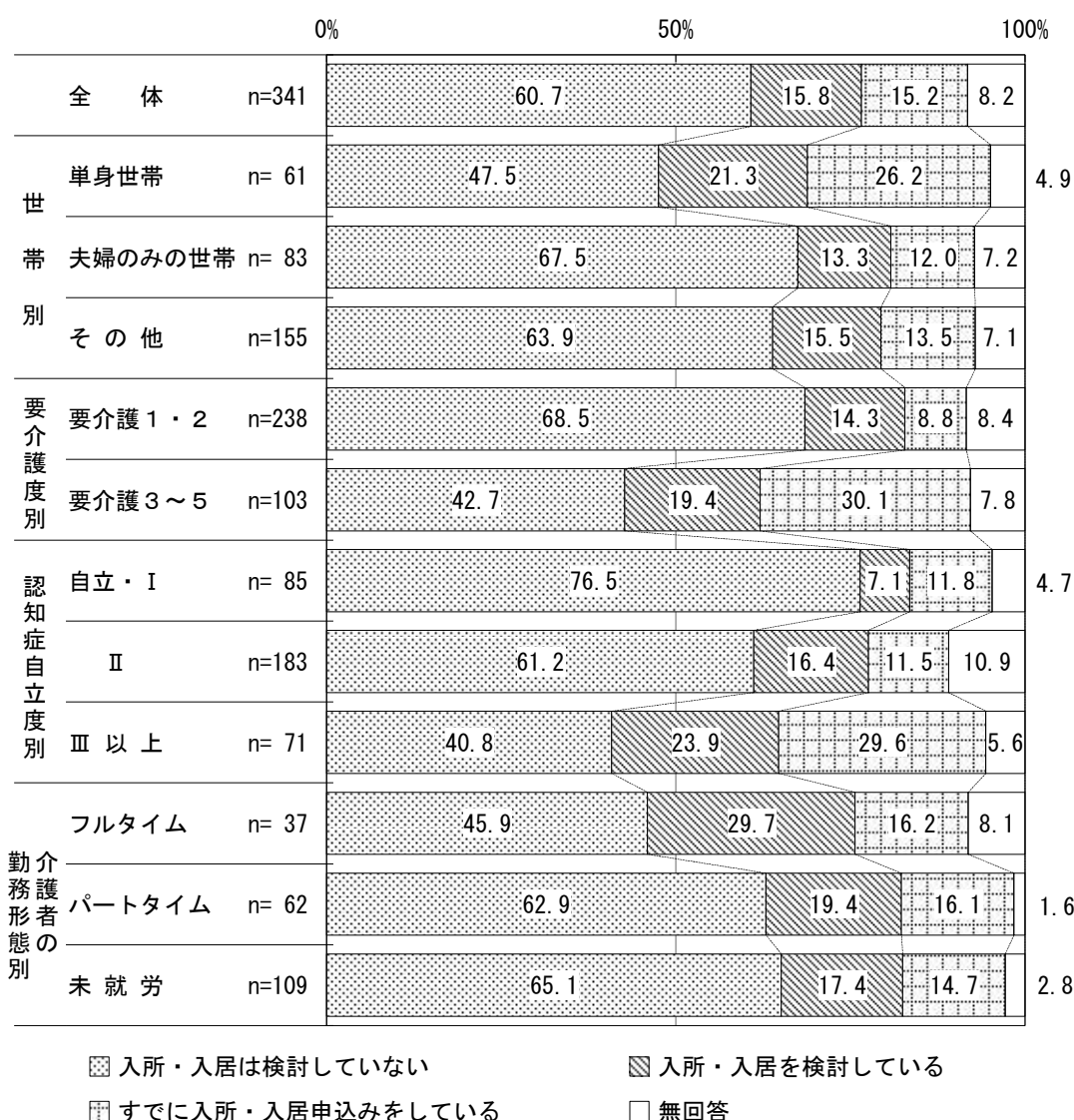


(5) 施設等への入所・入居の検討状況

- 施設等*への入所・入居の検討状況をみると、「入所・入居は検討していない」が60.7%を占めています。「すでに入所・入居申し込みをしている」(15.2%)、「入所・入居を検討している」(15.8%)を合計した<入所・入居意向>は31.0%です。
- <入所・入居意向>が40%を超える高率なのは、世帯類型別では単身世帯、要介護度別では要介護3～5、認知症自立度別ではⅢ以上、介護者の勤務形態別ではフルタイムです。心身の状態の悪化・重度化や家族介護者の状況等が入所・入居意向に影響していることがわかります。

*「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

図表 2-25 施設等への入所・入居の検討状況

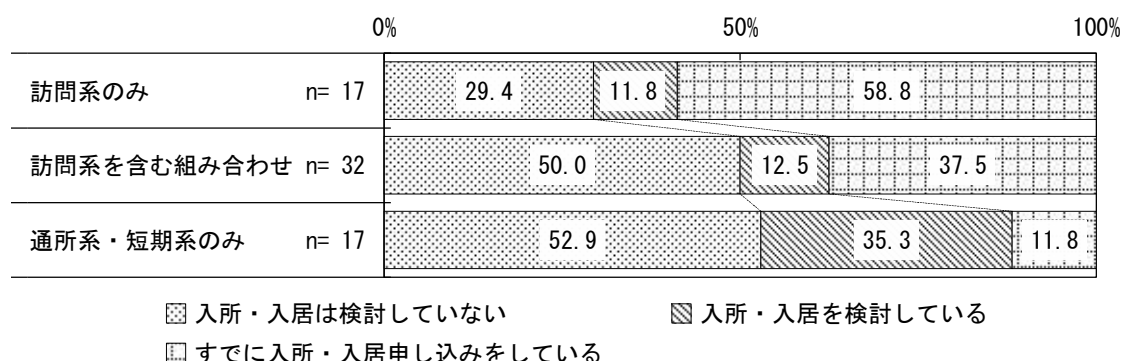


(6) サービス利用の組み合わせと施設等への入所・入居の検討状況

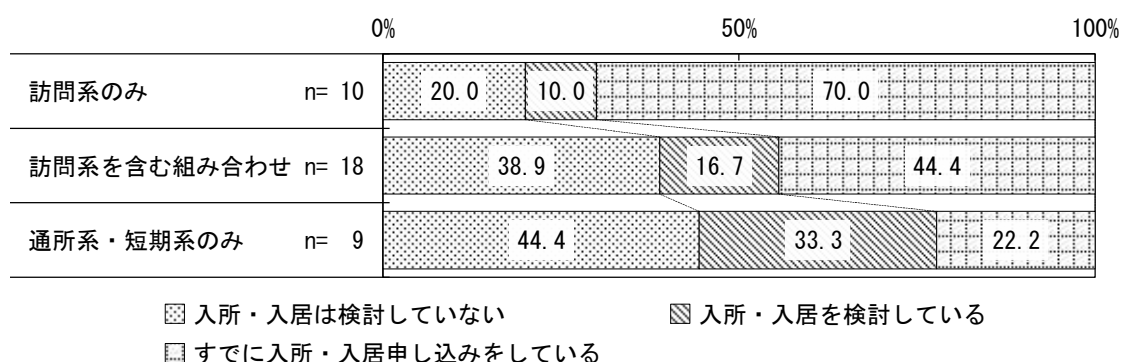
■ 施設等への入所・入居の検討状況を、①要介護3以上、②要介護4以上、③認知症自立度Ⅲ以上に分けて、サービス利用の組み合わせ別にみると、①～③のいずれの場合においても、《訪問系のみ》に比べて、《訪問系を含む組み合わせ》《通所系・短期系のみ》の〈入所・入居意向〉は低くなっています。特に③の《通所系・短期系のみ》の「入所・入居は検討していない」は65.0%を占めています。

図表2-26 施設等への入所・入居の検討状況（サービス利用の組み合わせ別）

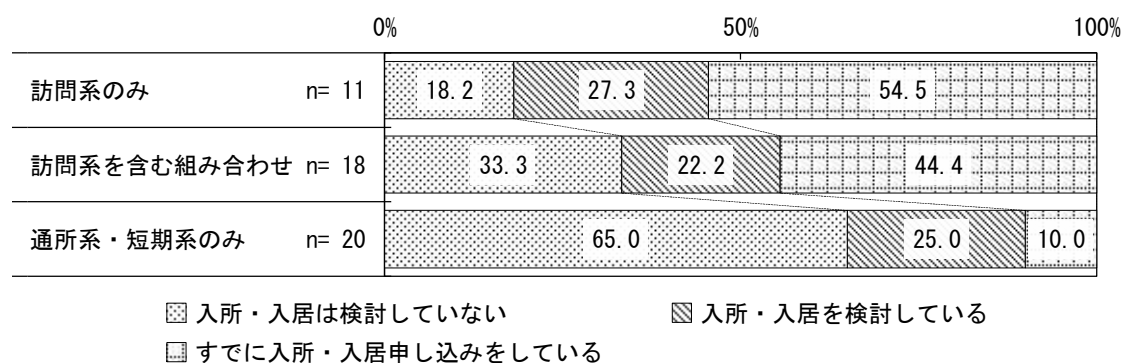
① 要介護3以上



② 要介護4以上



③ 認知症自立度Ⅲ以上

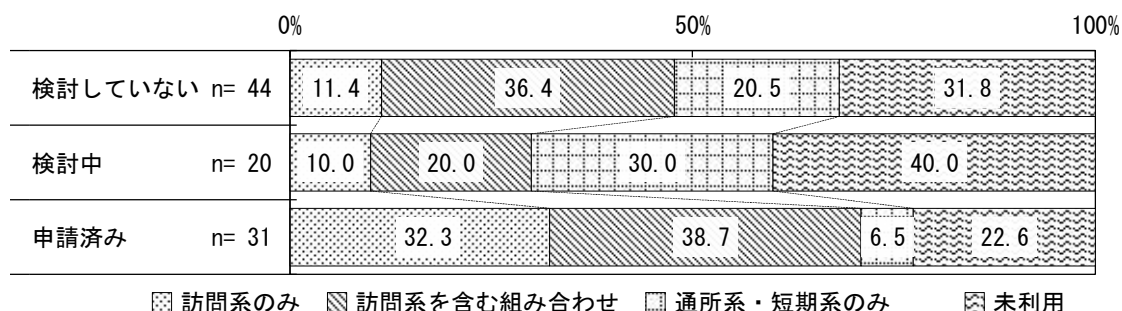


(注) 無回答を除く

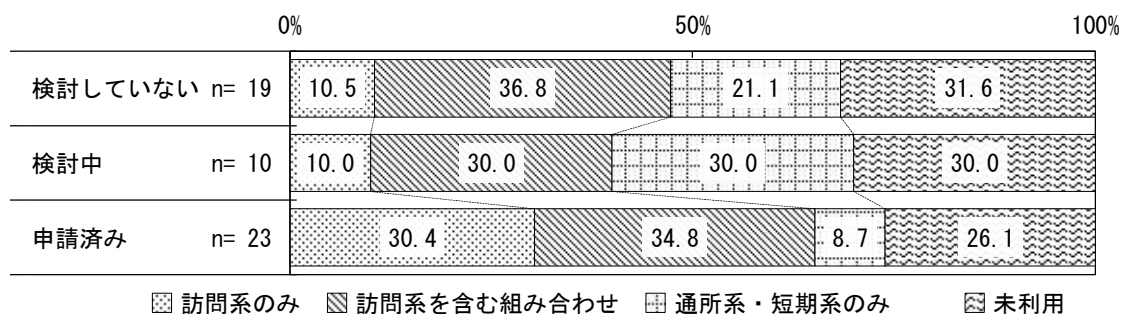
- ①要介護3以上、②要介護4以上、③認知症自立度Ⅲ以上に分けて、サービス利用の組み合わせを施設等への入所・入居の検討状況別にみると、①～③のいずれの場合も《申請済み》の「訪問系のみ」が《検討していない》《検討中》より高くなっています。

図表2-27 サービス利用の組み合わせ（施設等への入所・入居の検討状況別）

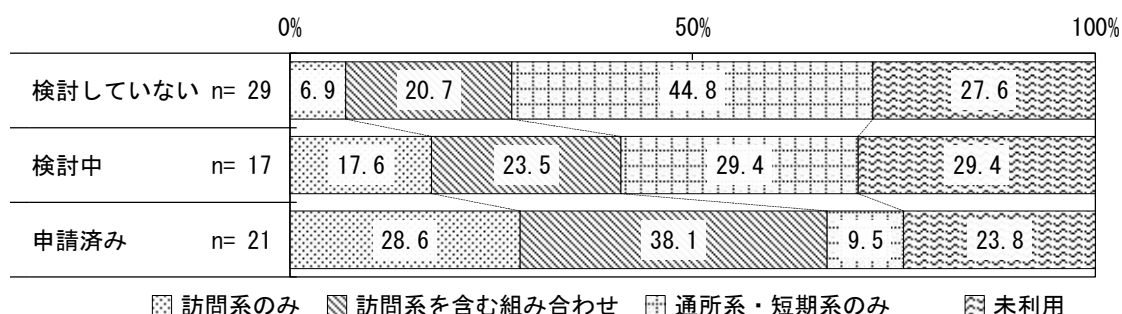
① 要介護3以上



② 要介護4以上



③ 認知症自立度Ⅲ以上

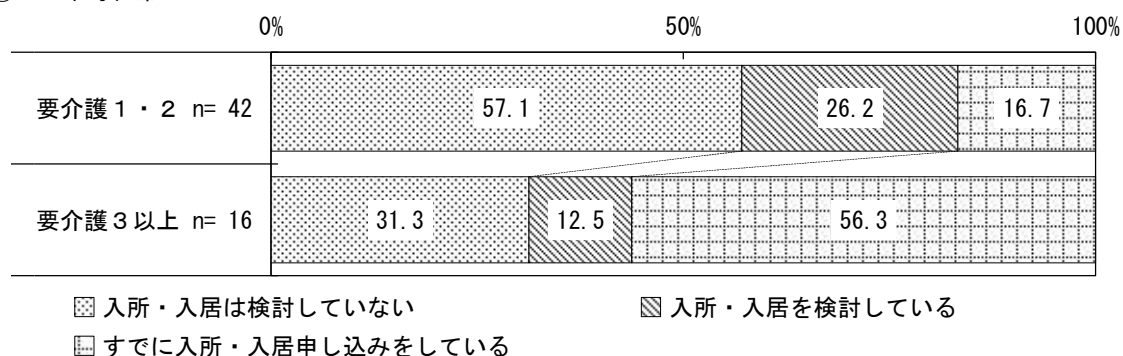


(7) 要介護度別・世帯類型別の施設等への入所・入居の検討状況

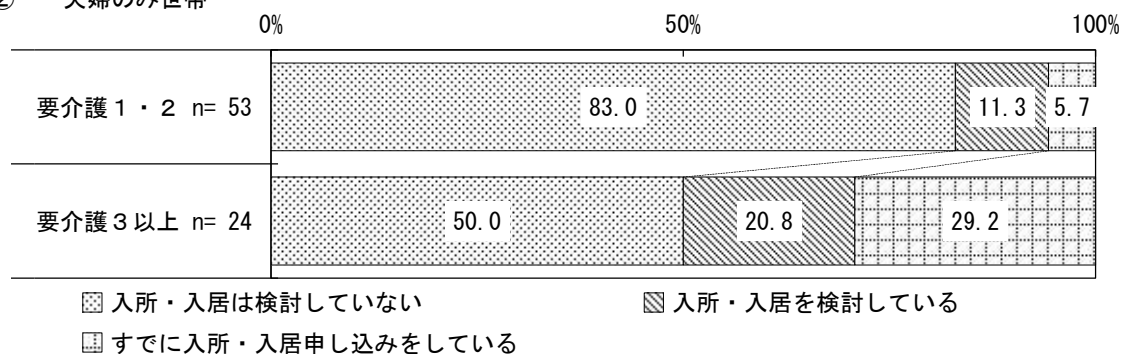
- 施設等への入所・入居の検討状況を、①単身世帯、②夫婦のみ世帯、③その他の世帯類型別に分けて、要介護度別にみると、いずれの世帯においても重度化にしたがい<入所・入居意向>が高くなり、軽度ほど「入所・入居は検討していない」が高くなっています。

図表 2-28 施設等への入所・入居の検討状況（要介護度別・世帯類型別）

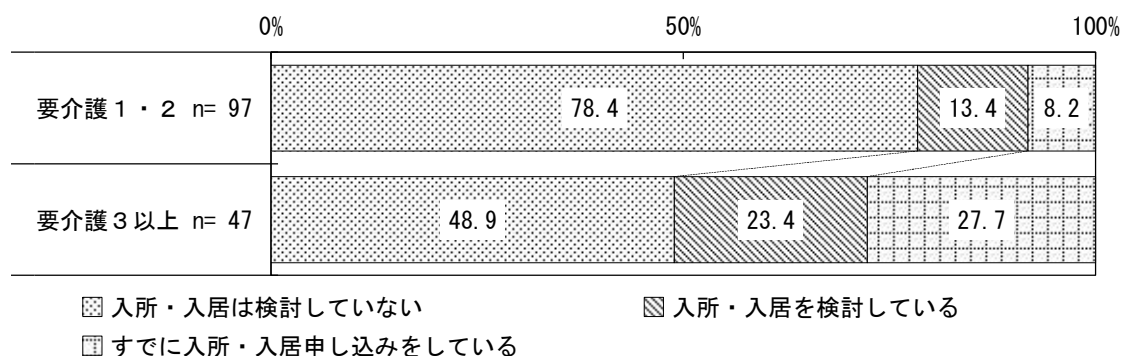
① 単身世帯



② 夫婦のみ世帯



③ その他



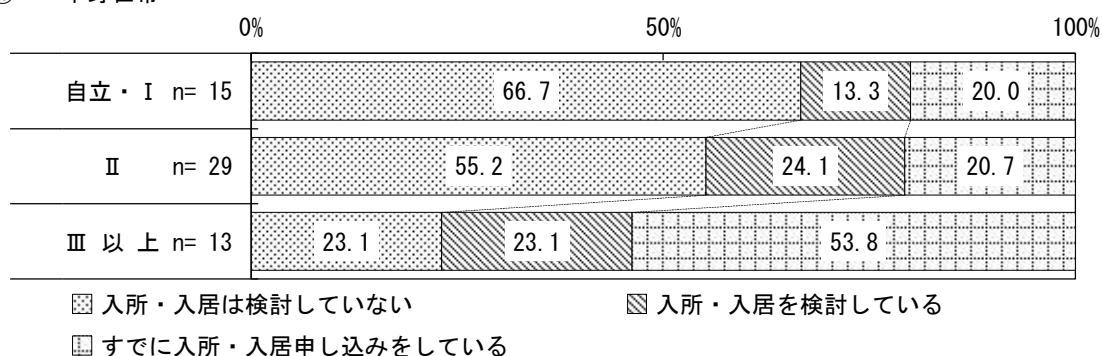
(注) 無回答を除く

(8) 認知症自立度別・世帯類型別の施設等への入所・入居の検討状況

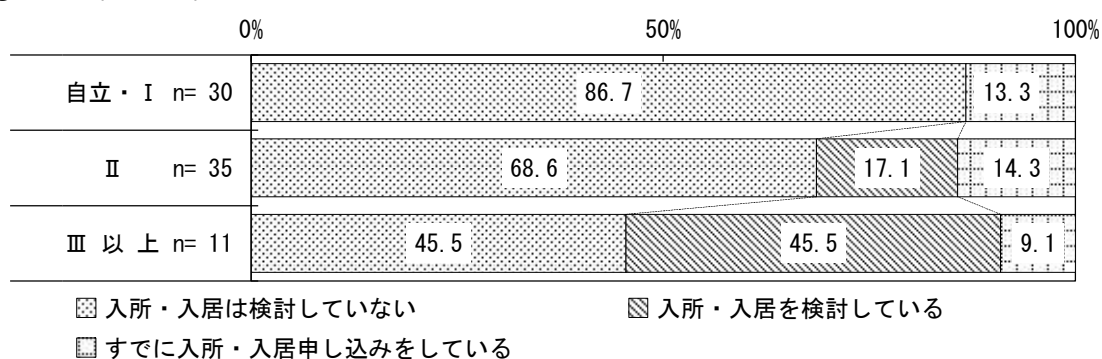
- 施設等への入所・入居の検討状況を、①単身世帯、②夫婦のみ世帯、③その他の世帯類型別に分けて、認知症自立度別にみると、いずれの世帯においても重度化にしたがい<入所・入居意向>が高くなり、軽度ほど「入所・入居は検討していない」が高くなっています。

図表2-29 施設等への入所・入居の検討状況（認知症自立度別・世帯類型別）

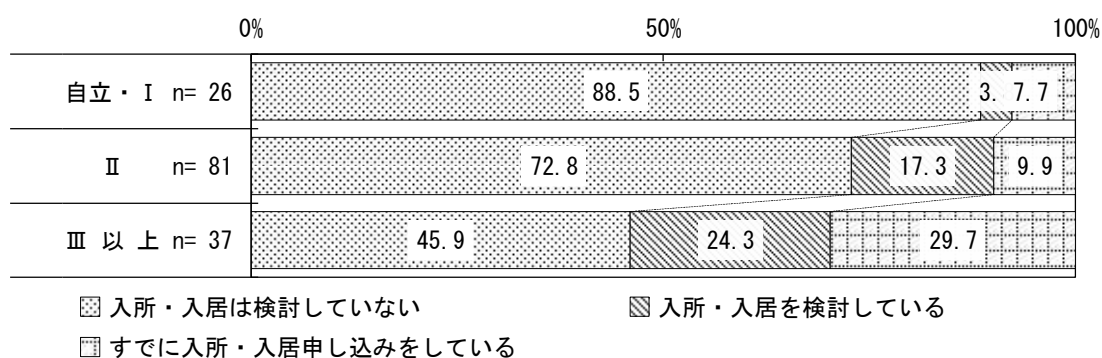
④ 単身世帯



⑤ 夫婦のみ世帯



⑥ その他

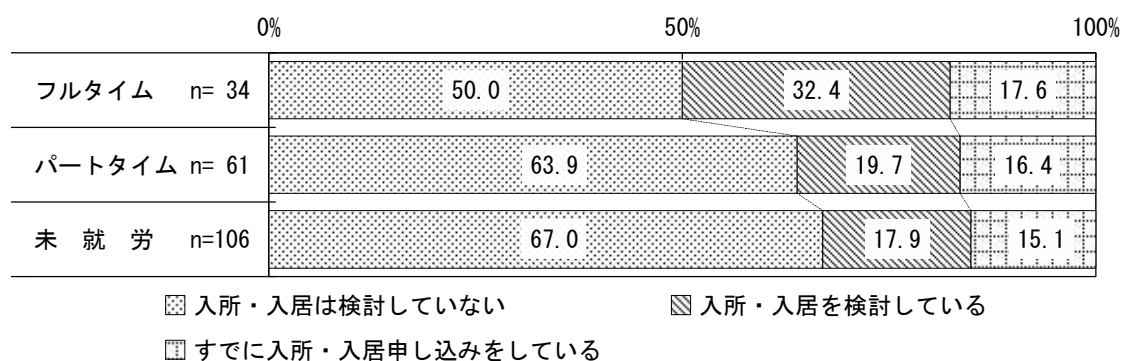


(注) 無回答を除く

(9) 介護者の就労状況別の施設等への入所・入居の検討状況

介護者の就労状況別に、施設等への入所・入居の検討状況をみると、＜入所・入居意向＞が最も高いのはフルタイムの 50.0%です。パートタイムの＜入居・入居意向＞は 36.1%、未就労は 33.0%です。

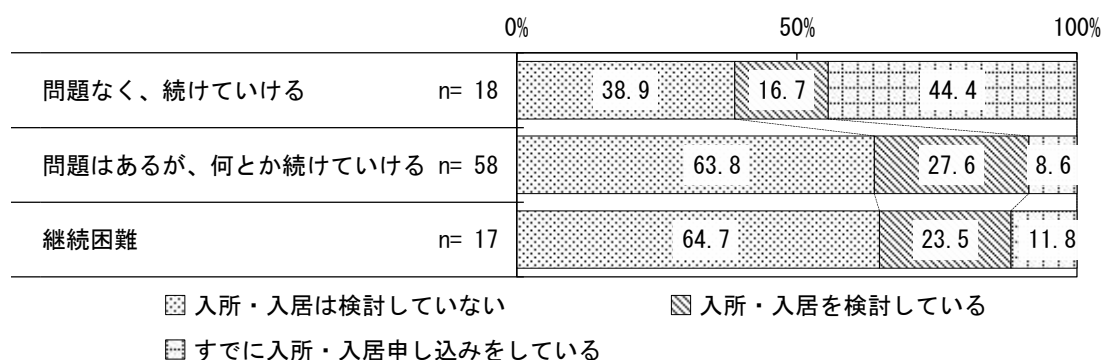
図表 2-30 施設等への入所・入居の検討状況（就労状況別）



(注) 無回答を除く

また、要介護 2 以上で介護者が就労している人の就労継続の見込み別にみると、《問題なく、続けていける》の「すでに入所・入居申し込みをしている」が 44.4%と、他に比べて 30 ポイント以上高くなっています。これは、すでに申請していることにより、精神的な負担が軽くなった結果と考えられます。

図表 2-31 施設等への入所・入居の検討状況（就労継続見込み別・要介護 2 以上で介護者が就労）



(注) 1 「継続困難」＝「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」
 2 無回答を除く